FUJITSU

B5FY-3831-02

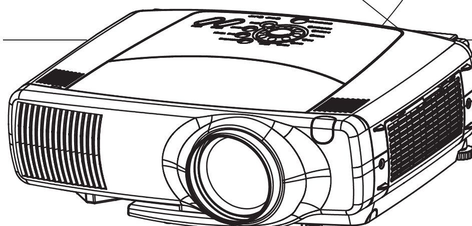
液晶プロジェクタ
型名PJ-X3500

取扱説明書

このたびは富士通液晶プロジェクタをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に **この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。**

商標について:
- PS/2、VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
- Apple、MacおよびADBはApple Computer, Inc.の登録商標です。
- VESAおよびSVGAはVideo Electronics Standard Associationの商標です。
- WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- その他の社名および商品名等は各社の商標または登録商標です。



保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。
（詳しくは、保証書をご覧ください。）
・ランプユニット、エアフィルタは消耗品のため保証対象品とはなりません。
・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年間です。
・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不具合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合品

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

特　長

本機は、各種のパソコン表示信号およびNTSC/PAL/SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型液晶プロジェクタです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

● 高　輝　度

UHBランプ、高効率光学系の採用により、高輝度を実現。

● 拡　大　機　能

お好みの部分を拡大表示できる「拡大」機能を装備。

● ワンタッチ機能

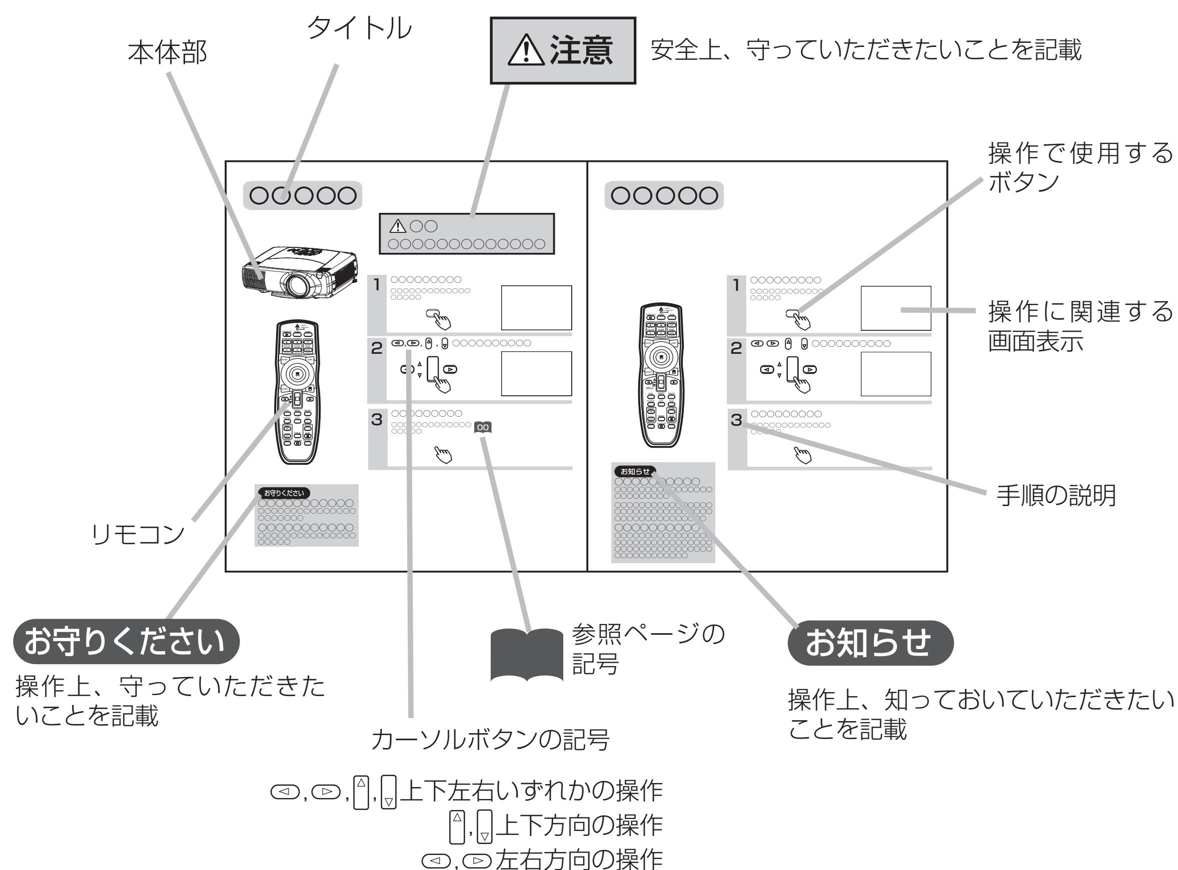
ONE TOUCHボタン一つで、入力信号の検索、画像の調節、台形歪みの補正までを自動実行。

● 騒音低減機能

プロジェクタ使用時の騒音を低減

本書の見かた

下図をご参考に本書をお読みください。



◁,▷,△,▽ 上下左右いずれかの操作
△,▽ 上下方向の操作
◁,▷ 左右方向の操作

もくじ

はじめに

設　置

基本的な使いかた

各種機能の設定

お手入れ

付　録

ご　参　考

使用上のご注意

ご使用のまえに
ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

絵表示の意味

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 「破裂注意」

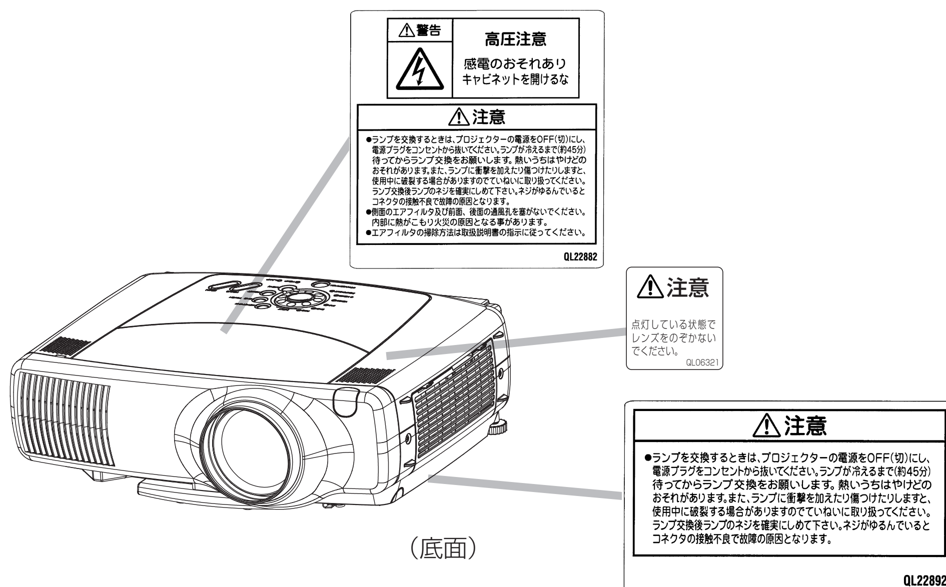
 してはいけない。「禁止」を示します。

 「分解禁止」

 必ず行う。「強制」を示します。

 「電源プラグをコンセントから抜くこと」

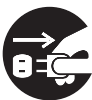
警告ラベル／注意ラベルについて
本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



（底面）

⚠警　告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、本機および電源コード、ケーブル類などに損傷がある、本機の内部に異物（水、金属など）が入った、などの異常や故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51）に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

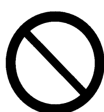
●電源プラグはすぐに抜くことができるように設置する。

■子供やペットに注意する



本機や付属品（リモコン、電池など）の取り扱いを誤ると、火災、感電、けが、火傷、視力障害などの原因となります。お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には、十分注意してください。

■異物や液体を入れない



内部に金属類などの異物や水などの液体が入ると、火災、感電の原因となります。

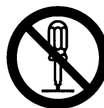
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」　　）にご連絡ください。

●風呂場やシャワー室、屋外や水辺など、ぬれるところに置かない。

●花瓶、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを近くに置かない。

●金属や、燃え易いものなどを近くに置かない。

■分解したり、改造したりしない

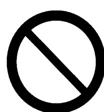


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

修理はご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51）にご依頼ください。

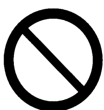
■衝撃を与えない



落としたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51）にご連絡ください。

■不安定な場所に置かない



落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定なところに置かない。

●キャスター（車）付きの台にのせる場合はキャスター止めをする。

●横向き、レンズの上向き、下向きには置かない。

●天吊り設置は、必ず事前にご購入元または技術的なご質問、ご相談のお問合せ先（「お問合せ先」51）にご相談ください。

⚠警　告

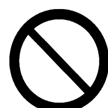
■高温に注意する

使用中や使用後しばらくは、本機のレンズや通風口から出る空気は高温になり、火災、火傷の原因となります。また、内部の温度が上がりすぎると故障の原因となることがあります。



●使用中や使用後しばらくはレンズや通風口の付近に触れない。
●風通しの良い場所に、周囲の壁や物から30cm以上離して設置する。
●金属などの熱が伝わり易い台の上で使用しない。
●レンズや通風口の近くに物を置かない。
●通風口を塞がない。
●通風口のある面を下にして置かない。
●テーブルクロスや布などをかぶせない。
●カーペットや布団の上に置いて使用しない。

■レンズをのぞかない



ランプの点灯中は強い光が投射されていますので、視力障害などの原因となります。絶対にのぞかないでください。

■指定（本体に表示）の電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外でのご使用は、火災、感電の原因となります。

■電源は正しく接続する

電源コードの取り扱いを誤ると火災、火傷の原因となります。



●ぬれた手で電源コードに触れない。
●電源プラグや周辺に付着したほこりや金属類は、接続まえに乾いた布で拭き取る。
●電源プラグは根元まで確実に差し込む。ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しない。

■レーザ光を目にあてない

リモコン送信機のレーザポインタは指し棒の代わりに使用するものです。レーザ光を直接覗きこんだり、他の人にレーザビームを向けたりしないでください。レーザビームが目にあたると視力障害などの原因となります。また、お子様に使わせないようにしてください。

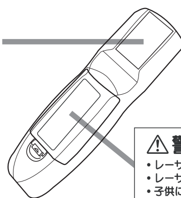


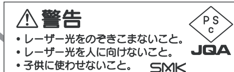
AVOID EXPOSURE-
LASER RADIATIONS IS EMITTED FROM THIS APERTURE

CAUTION
LASER RADIATION-
DO NOT STARE INTO BEAM
MAX. OUTPUT: 1mW
WAVE LENGTH: 650nm
CLASS2 LASER PRODUCT

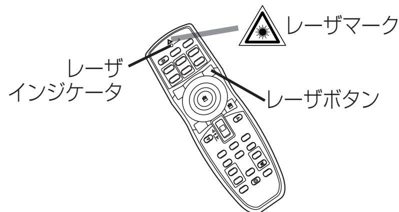
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS2 LASER PRODUCT
MAX OUTPUT : 1mW
WAVE LENGTH : 650nm
IEC60825-1 : 1993 + A1 : 1997 + A2 : 2001

レーザ光
ビームをのぞきこまないでください。
最大出力　1mW
波長　650nm
クラス2レーザ製品
JIS C 6802:1997/98





⚠警告
・レーザー光をのぞきこまないこと。
・レーザー光を人に向けないこと。
・子供に使わせないこと。
SMK
PSC
JQA



■ランプの取り扱いに注意する

ランプはガラス製で寿命のある製品です。ランプの取り扱いを誤ると火傷の原因や、破裂してけがの原因となります。

ランプ交換の際は必ず本書の「ランプについて」の項をお読みになり、「仕様」の項に記載の交換用ランプの型名をご確認のうえ、ご購入元にご連絡ください。

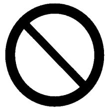


破裂注意

●ランプに衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
●ランプ交換は高温状態で行わない。電源スイッチを切って十分冷ましてから行う。
●交換用ランプは、本書に指定の、新しい（未使用）ランプを使う。
●廃棄は、廃棄を行う地域の法律や条令に従って正しく行う。

⚠注　意

■電源コードや接続ケーブルを傷つけない



損傷のある電源コードや接続ケーブルを使用すると火災、感電の原因となります。

電源コードや接続ケーブルに損傷がある場合は使用せず、ご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にご相談ください。

●本機や重いものを乗せない。
●ケーブル部分を持って引っ張らない。
●加熱しない。本機のレンズや通風口、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
●無理に曲げたり、加工したりしない。

■電池の取り扱いに注意する

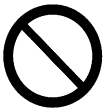


電池（リモコン用）の取り扱いを誤ると火災や人体への傷害の原因、破裂してけがや周囲の汚損の原因となります。

電池交換の際は、必ず本書の「リモコンの使いかた」の項をお読みください。

●電池は子供やペットの届かないところに保管する。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談する。
●電池を火や水の中に入れない。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管する。
●電池に衝撃を与えたり、傷つけたりしない。分解、半田付けなど、加工しない。
●電池を充電したり短絡したりしない。電池をピンセットなどの金属製の物で持たない。
●交換電池は、本書に指定の、新しい（未使用）電池を使うこと。
●電池を入れるときは、リモコンの極性表示（⊕、⊖）に注意して正しく入れる。
●電池が液漏れした場合は、漏れ液を布などで拭き取って新しい電池に交換する。漏れ液には直接触れない。皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄する。
●廃棄は、廃棄を行う地域の法律や条令に従って正しく行う。

■移動や運搬のときに衝撃を与えない

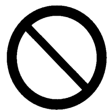


落としたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

落としたりぶつけたりしないように注意してください。

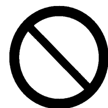
●使用中には移動しない。移動時は、予め電源コードやケーブルの接続を外し、レンズはレンズキャップを取り付けるか、レンズドアのある製品はレンズドアを閉じて保護する。
●キャリングバッグが付属されている製品の持ち運びにはこれを使用する。
●引越しや修理などで搬送する場合は、本機用の梱包材を使用する。

■本機の上に乗ったり、物を置いたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりすると、けがや火傷、破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多いところ、煙草の煙や油煙、湯気などがあたるところに置かない

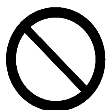


火災、感電の原因となったり、故障や不具合の原因となることがあります。

●調理台や加湿器の近くに置かない。
●喫煙所や、喫煙者のいるところに置かない。

⚠注　意

■高温になるところに置かない



火災、感電の原因やキャビネットが傷む原因となることがあります。
●直射日光の当たるところ、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
●通風口のある面を下にして使用しない。

■使用しないときは電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜くこと

電源の完全な切断のためには電源スイッチを切るだけでなく電源プラグを抜いてください。
●長時間使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
●お手入れやランプ交換のときなどは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

■排気ファン付近について



排気ファンからはランプ冷却後の熱風が排出されます。
排気ファン付近および本機を乗せている台は高温になりますのでご注意ください。発泡スチロールやビニールなど熱に弱いものの上には置かないでください。変形する恐れがあります。

■装置温度について



本機は動作中ならびに電源切断直後は、装置が高温になります。
本機を十分に冷ましてから持ち運んでください。

■長時間運用について



長時間でお使いになる場合や、通常の使用環境と異なった使い方をされる場合には、ご購入元にご相談ください。
本機には、有寿命部品（LCDパネル）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

お守りください

■リモコンに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となることがあります。
●リモコンを投げたり、落としたりしないでください。
●リモコンに重い物を乗せないでください。

■レンズの取り扱いにご注意ください

レンズが傷つくと破損や故障の原因となることがあります。くもりや汚れは画像品質に悪い影響を及ぼすことがあります。
●使用しないときはレンズキャップを取り付けか、レンズドアのある製品はレンズドアを閉じてください。
●レンズには直接手を触れないでください。
●レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）で行ってください。
レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。

お守りください（つづき）

■エアフィルタのお手入れについて
エアフィルタがほこりや汚れでつまると、内部温度が上昇して故障の原因となることがあります。
内部温度の上昇を防ぐために電源が自動的にOFFになったり、「吸気口をチェックしてください（CHECK THE AIR FLOW）」などのメッセージが表示されたりすることがあります。
お手入れの際は、本書の「エアフィルタについて」の項をお読みください。エアフィルタが損傷したり、汚れがひどくて清掃しきれない場合は交換が必要です。ご購入元にご連絡ください。
●エアフィルタを外した状態で電源を入れないでください。

■キャビネット、リモコンのお手入れについて
誤った取り扱いは表面の変質や塗装がはがれる原因となることがあります。
お手入れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞り、軽く拭いた後、別の乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。中性洗剤の原液は使用しないでください。
●ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
●スプレーは使用しないでください。
●ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
●化学ぞうきんのご使用については、その注意書に従ってください。

■結露にご注意ください
本機を低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機内部の投射レンズやミラーに結露が生じ、画面がぼやけたり見えなくなったりすることがありますのでご注意ください。
本機が周囲の温度に慣れるに従い、露が消えて画像は正常に戻ります。

■強い光を避けてください
直射日光や照明などの強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常に働かない場合があります。
●光源は遠ざけてください。

■電波を発生するものを避けてください
本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、画像が乱れたり、スピーカから雑音を発生したりする原因となることがあります。
●携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

■映像特性について
本機は液晶パネルを使用した投映装置です。投映面（スクリーンや壁）の特性により、画像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのCRTモニタとは異なることがあります。
●偏光スクリーンは使用しないでください。画面が赤味を帯びて見える場合があります。

■ノートパソコンとの接続について
ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

■電源オン、電源オフの順序について
接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、本機の電源オンはパソコンやビデオより先に、電源オフはパソコンやビデオより後に、行ってください。

■同一映像を長時間投映しないでください
同一映像を長時間投映すると、その映像が残像として残ることがあります。

■目の疲れにご注意ください
長時間のご使用は目が疲れる原因となります。ときどき画面から離れて目を休めてください。

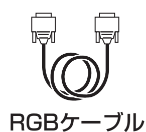
■適度な音量でご使用ください
隣近所へ十分配慮して、適度な音量で使用してください。特に夜間は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

お使いになる前の準備

はじめに付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、ご購入元にご連絡ください。

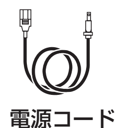
お守りください

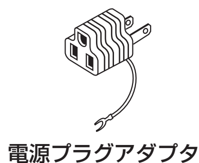
●取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。
●梱包材は、修理や引越しの時のために保管しておいてください。

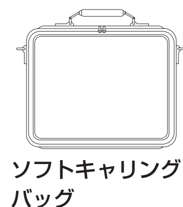

RGBケーブル

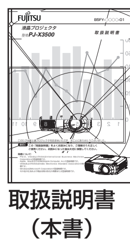

AUDIO/VIDEO
ケーブル


マウスケーブル
（USB）

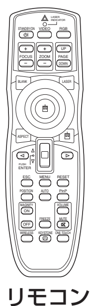

電源コード


電源プラグアダプタ

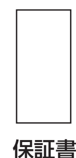

ソフトキャリング
バッグ



取扱説明書
（本書）


リモコン


単3形乾電池×2個
（リモコン用）


保証書

お使いになる前の準備（つづき）

⚠警告　電源接続についてのご注意： 誤った接続は、火災、感電の原因となります。

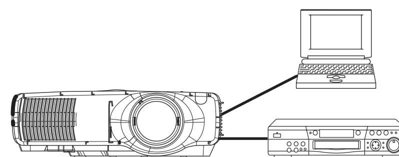
●指定の電源電圧で(AC100V)ご使用ください。
●電源コードおよび電源プラグアダプタは必ず本機に付属のものをご使用ください。
●電源プラグアダプタをご使用の場合は、必ず電源プラグを電源に接続する前に、アース線を接続してご使用ください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
●電源コードと本機やアダプタ、コンセントへの接続は、接続部を根元まで確実に差し込んでください。

⚠注意

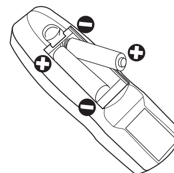
●本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときにすぐ対応できるようにしてください。万一、異常が発生した場合は本製品の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜いてください。

1　お手持ちの機器をつなぐ 17 ~ 20

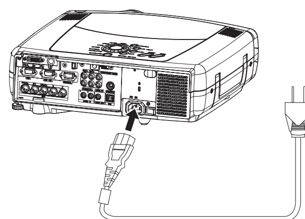
パソコンやビデオデッキなどを接続します。



2　リモコンに電池を入れる 21

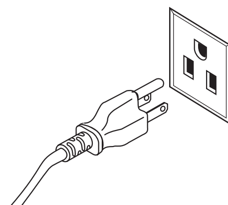


3　電源コードを接続する



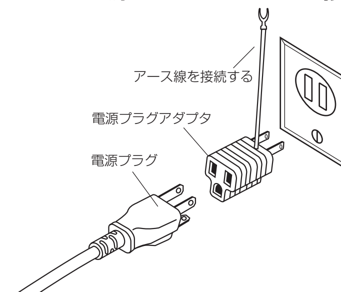
3つ穴コンセントを使用する場合

(1)電源コードのコネクタ側を本体のACインレットに接続する。
(2)電源プラグをコンセントに接続する。



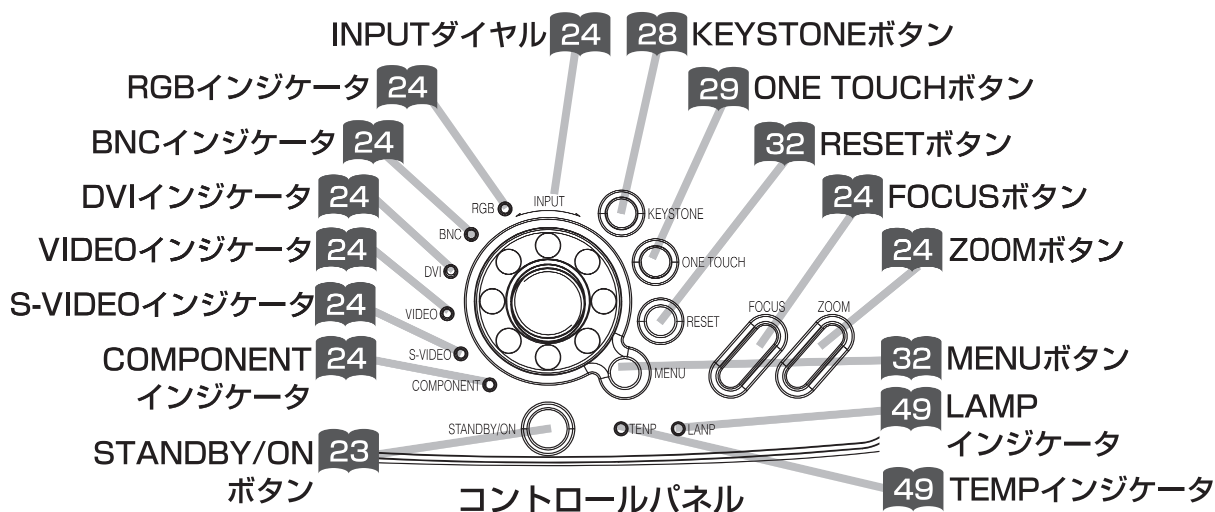
2つ穴コンセントを使用する場合

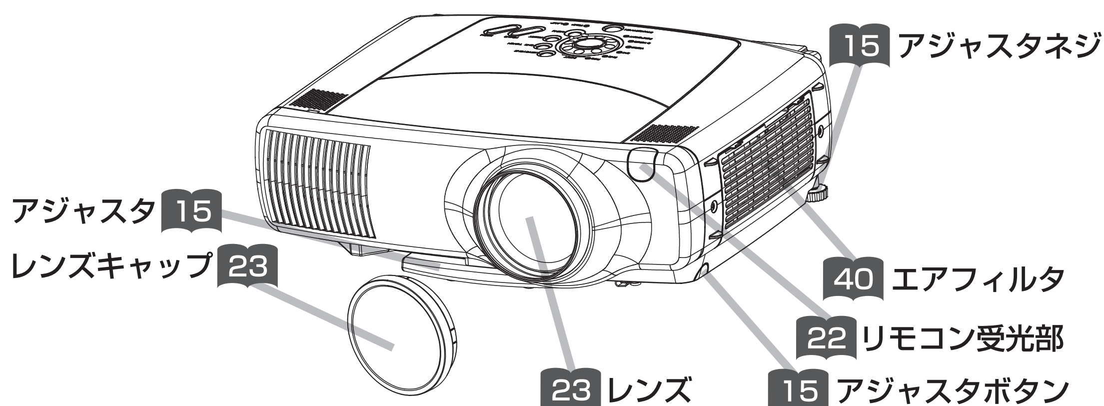
(1)電源プラグアダプタのアース線を接地する。
(2)電源プラグアダプタをコンセントに接続する。
(3)電源コードのコネクタ側を本体のACインレットに接続する。
(4)電源プラグを電源プラグアダプタに接続する。

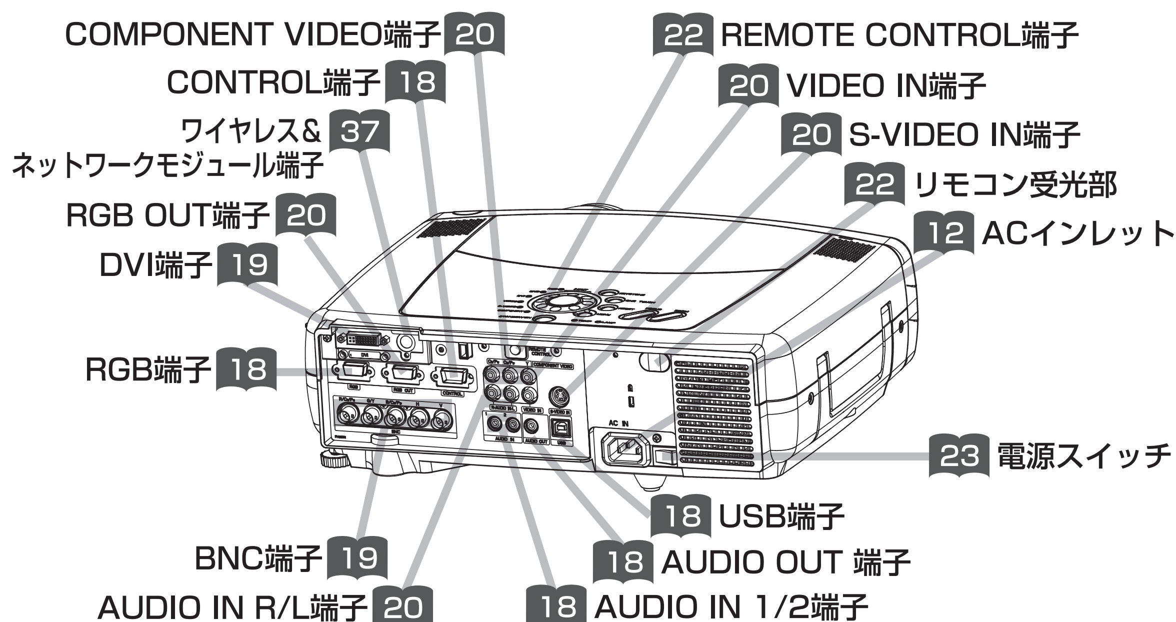


各部の名称　本　体

内の数字は、参照ページです。







各部の名称（つづき）

リモコン

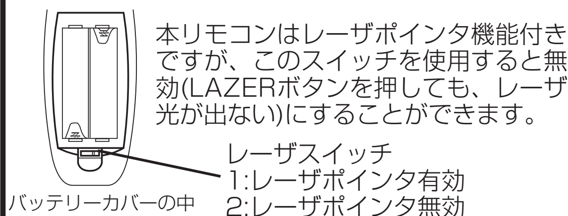
LASER インジケータ 22
VIDEOボタン 24
STANDBY/ON ボタン 23
FOCUSボタン 24
BLANKボタン 30
ディスクパッド 46
〈マウスコントロール用〉
マウスカーソルの移動
マウス左クリック
ASPECTボタン 30
左◁/右▷ キーボタン 32
ESCボタン 32
MENUボタン 31
POSITIONボタン 27
MAGNIFYボタン 28
WIRELESSボタン 37
KEYSTONEボタン 28
ワイヤード リモコン端子 22

24 RGBボタン
24 ZOOMボタン
46 PAGEボタン
22 LASERボタン
46 右マウスボタン
〈マウスコントロール用〉
マウス右クリック
31 レバースイッチ(※1)
32 RESETボタン
27 AUTOボタン
30 PinPボタン
26 VOLUMEボタン
29 FREEZEボタン
26 MUTEボタン
29 ONE TOUCHボタン
30 (裏面) バッテリーカバー(※2)

(※1)レバースイッチの使いかた

ディスクパッド側へ倒す	：上(△)上キー
MENUボタン側へ倒す	：下(▽)キー
中央で押す	：ENTERボタン

(※2)レーザスイッチの使いかた



本リモコンはレーザポインタ機能付きですが、このスイッチを使用すると無効(LAZERボタンを押しても、レーザ光が出ない)にすることができます。

本機を設置するには

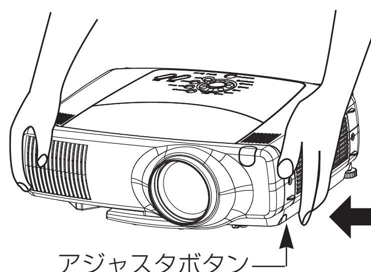
⚠ 注意

●誤った設置は火災、感電、けがなどの原因となることがあります。予め本書の「使用上の注意」をよくお読みください。
●本機を保持しないでアジャスタボタンを押すと、本機が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。アジャスタボタンは必ず本機を持った状態で押してください。

アジャスタの使いかた

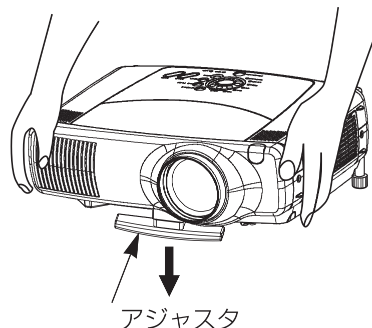
設置面やスクリーンなどに傾きがあるときなどには、アジャスタや、アジャスタネジで本機の設置角度を調節してください。角度の調節は、0°～10°の範囲で調節できます。

1 アジャスタボタンを押す

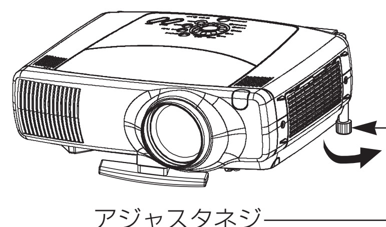


2 プロジェクタを持ち上げ、高さを調節して、アジャスタボタンから手をはなす

アジャスタボタンから手をはなすとアジャスタが固定されます。



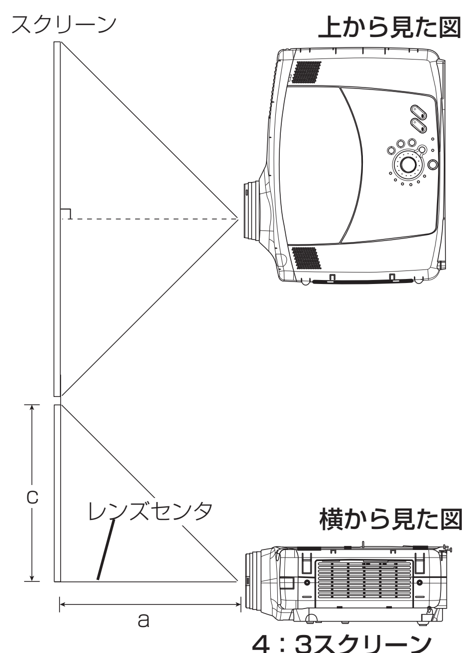
3 アジャスタネジをまわし、微調節する



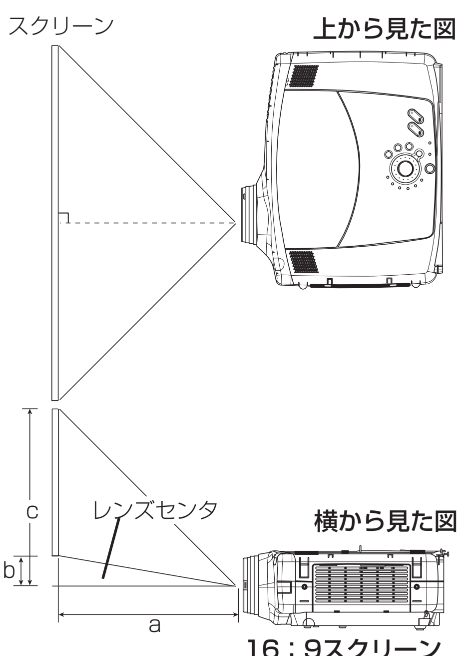
本機とスクリーンを設置する

下図および下表を参考に画面サイズと投映距離をきめてください。

フルサイズのときの、
a: プロジェクタからスクリーンまでの距離（±10%）
b:レンズセンタから画面下端までの長さ（±10%）
c:レンズセンタから画面上端までの長さ（±10%）

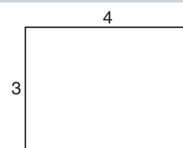


4：3スクリーン



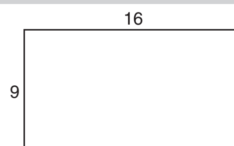
16：9スクリーン

4：3スクリーンのとき



スクリーンサイズ [m(型)]	a[m] 最小	a[m] 最大	b [cm]	c [cm]
0.8（30）	0.9	1.3	0	46
1.0（40）	1.2	1.8	0	61
1.3（50）	1.5	2.3	0	76
1.5（60）	1.8	2.7	0	91
1.8（70）	2.1	3.2	0	107
2.0（80）	2.4	3.7	0	122
2.3（90）	2.7	4.1	0	137
2.5（100）	3.0	4.6	0	152
3.0（120）	3.7	5.5	0	183
3.8（150）	4.6	6.9	0	229
5.0（200）	6.2	9.2	0	305
6.3（250）	7.7	11.6	0	381
7.5（300）	9.3	13.9	0	457

16：9スクリーンのとき



スクリーンサイズ [m(型)]	a[m] 最小	a[m] 最大	b [cm]	c [cm]
0.8（30）	0.9	1.4	6.2	44
1.0（40）	1.3	2.0	32	70
1.3（50）	1.6	2.5	41	78
1.5（60）	2.0	3.0	49	86
1.8（70）	2.3	3.5	57	94
2.0（80）	2.6	4.0	65	102
2.3（90）	3.0	4.5	73	110
2.5（100）	3.3	5.0	81	118
3.0（120）	4.0	6.0	97	134
3.8（150）	5.0	7.5	121	159
5.0（200）	6.7	10.1	162	199
6.3（250）	8.4	12.6	202	240
7.5（300）	10.1	15.1	243	280

お手持ちの機器の接続

⚠ 注意
●誤った設置は火災、感電、けがなどの原因となることがあります。予め本書の「使用上の注意」をよくお読みください。

お守りください　**接続時のご注意**

●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
●本機の各端子のピン配列については、本書の「付録」をご覧ください。
●COMPONENTケーブルおよび他のいくつかのケーブルにはコアが必要です。接続ケーブルは付属または所定のものをご使用ください。片端にだけコアがついているケーブルは、コア側をプロジェクタに接続してください。
●Dサブコネクタの接続はネジで固定してください。

設置

接続端子とケーブルについて

本機の接続端子と接続に使用するケーブルは、下表のようになっています。下表を参考に接続に使用するケーブルをご用意ください。

機　能	プロジェクタの端子	接続ケーブル
アナログRGB入力	RGB	RGBケーブル（Dサブ15ピンシュリンク、インチネジ付）(付属/オプション)
	BNC(R/CR/PR)(G/Y)(B/CB/PB)(H)(V) ・BNC(RGB)選択時(※)	BNCケーブル(市販品)
アナログRGB出力	RGB OUT	RGBケーブル（Dサブ15ピンシュリンク、インチネジ付）(付属/オプション)
デジタルDVI入力	DVI	DVIケーブル(オプション)
パソコンからの音声入力	AUDIO IN 1 ・RGBまたはDVI端子入力に連動	AUDIO/VIDEOケーブル(ステレオミニ)(市販品)
	AUDIO IN 2 ・BNC(RGB)端子入力に連動(※)	
USBマウスコントロール	USB	USBケーブル(付属/オプション)
PS/2マウスコントロール	CONTROL	PS/2マウスケーブル(オプション)
ADBマウスコントロール		ADBマウスケーブル(オプション)
Sビデオ入力	S-VIDEO IN	S-VIDEOケーブル(ミニDIN4ピン)(市販品)
ビデオ入力	VIDEO IN	AUDIO/VIDEOケーブル(付属)
コンポーネントビデオ入力	COMPONENT(CR/PR)(CB/PB)(Y)	COMPONENT VIDEOケーブル(オプション)
	BNC(R/CR/PR)(G/Y)(B/CB/PB) ・BNC(COMPONENT)選択時(※)	
ビデオ装置からの音声入力	AUDIO IN R,L	AUDIO/VIDEOケーブル(付属) またはAUDIOケーブル(市販品)(RCAジャック)
音声出力	AUDIO OUT	AUDIOケーブル(ステレオミニ)(市販品)
ワイヤードリモコン信号入力	REMOTE CONTROL	AUDIOケーブル(ステレオミニ)(市販品)

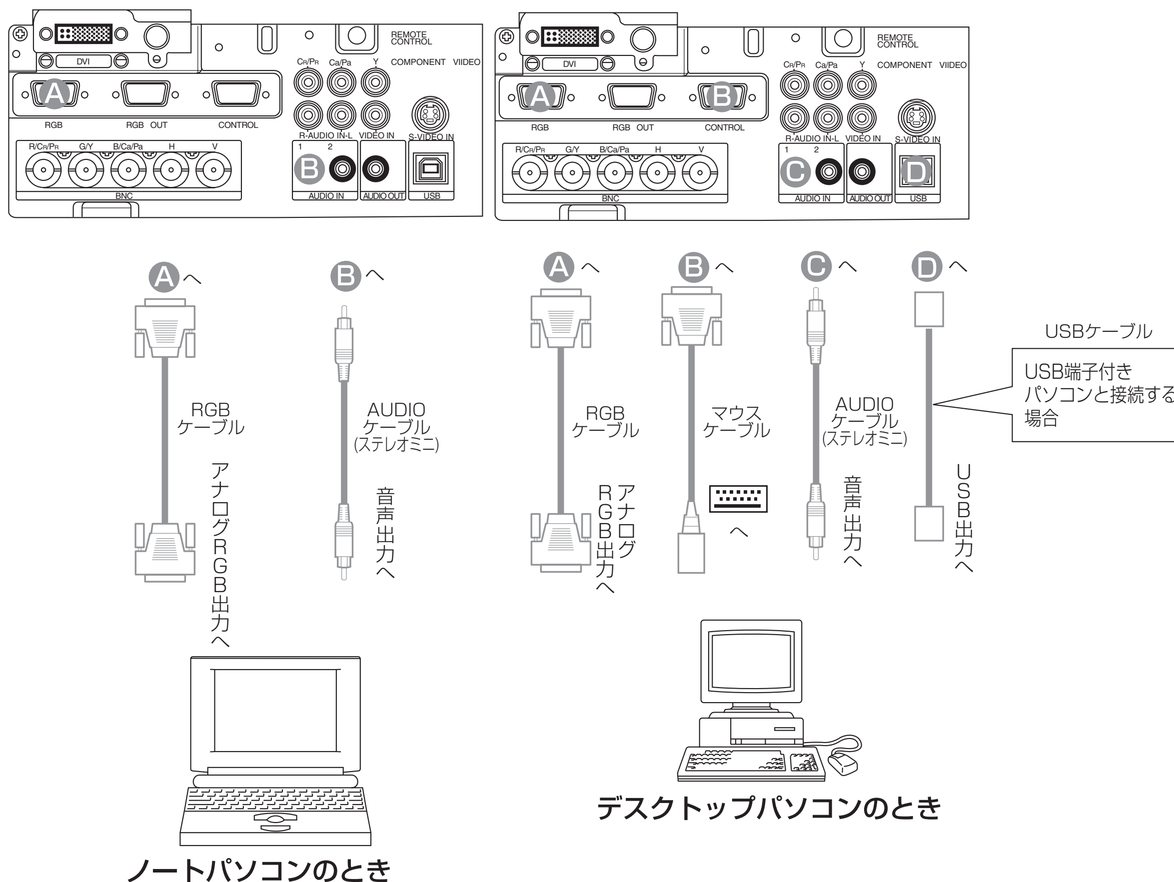
(※)BNC端子は入力メニューの「BNC」でRGB入力とCOMPONENT VIDEO入力とに切り換えてご使用になれます。24

お手持ちの機器の接続（つづき）

パソコンとの接続

お守りください

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効に(LCDとCRT同時表示、またはCRT表示に設定)してください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。



お知らせ

●パソコンが複数の表示モードを持っている場合には、本機が対応できないモードが含まれる場合があります。

プラグ&プレイについて

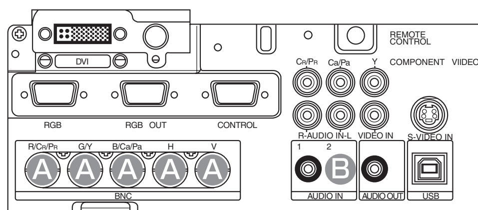
●本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC(Display Data Channel)に対応のパソコンに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。
プラグ&プレイ機能をご使用になる場合は、本機のRGB端子(DDC 1/2B対応)とパソコンを付属のRGBケーブルで接続してください。その他の端子やケーブルによる接続ではプラグ&プレイは機能しない場合があります。

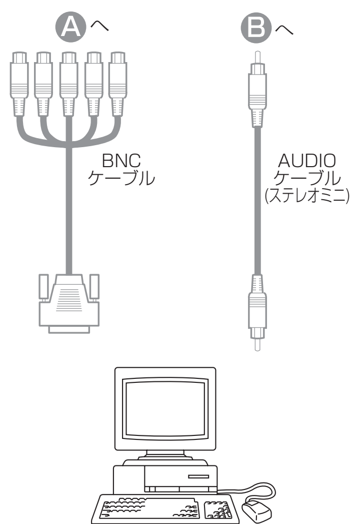
●プラグ&プレイは、パソコンと、表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。

●本機は「プラグ&プレイモニタ」として認識されます。この際、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。

パソコンとの接続(つづき)

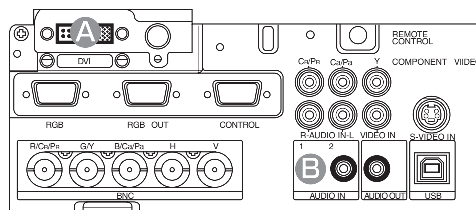
BNC入力

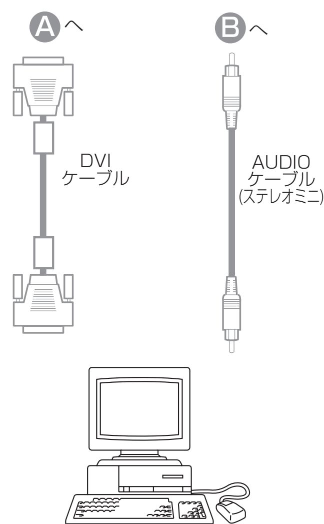




デスクトップパソコンのとき

DVI入力



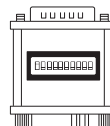


デスクトップパソコンのとき

お知らせ

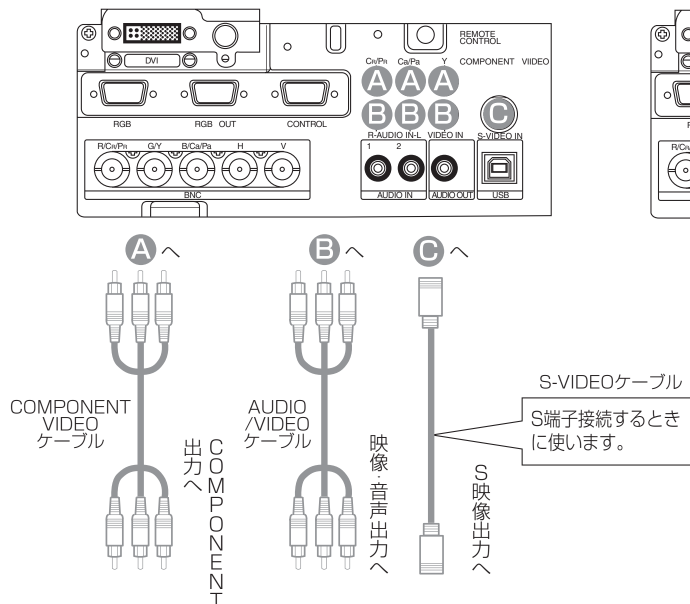
●Macintoshとの接続には別途オプションのプロジェクタ接続コネクタ(PJX70-CN1)が必要です。
ノート型Macintoshに接続する場合はオプションのプロジェクタ接続コネクタ(PJX70-CN1)の他に、専用アダプタ(市販品)が必要な場合があります。
プロジェクタ接続コネクタPJX70-CN1（オプション)を必ずお使いください。使用しないと表示が出なくなる場合があります。
プロジェクタ接続コネクタPJX70-CN1（オプション)は、次のようにディップスイッチを切り換えてご使用ください。

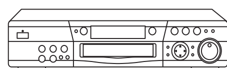
Mac 13" Mode (640×480)→スイッチ1、4、6、7をON
Mac 16" Mode (832×624)→スイッチ1、3、6、7をON



お手持ちの機器の接続（つづき）

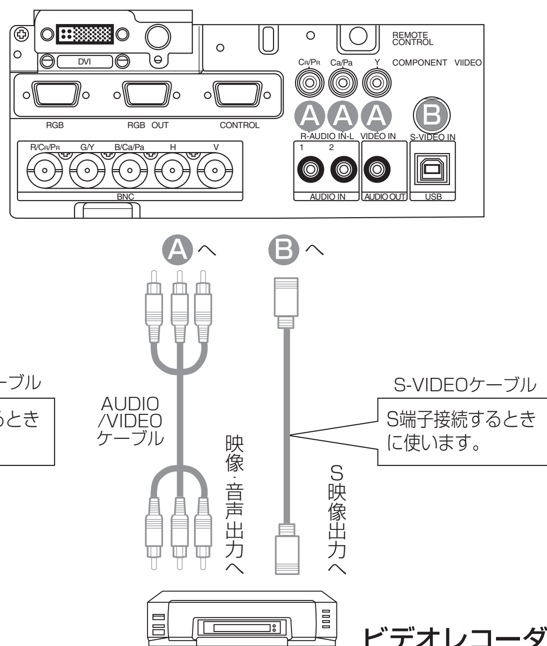
DVDプレーヤーとの接続





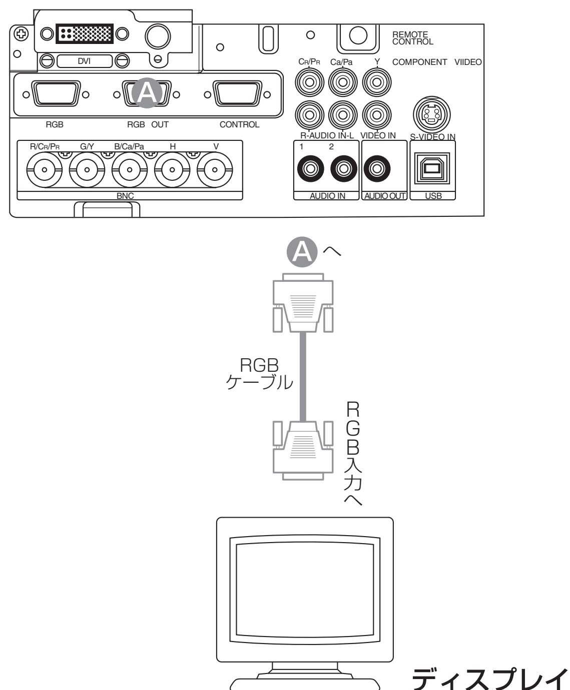
DVDプレーヤー

ビデオレコーダーとの接続



ビデオレコーダー

ディスプレイとの接続



ディスプレイ

リモコンの使いかた

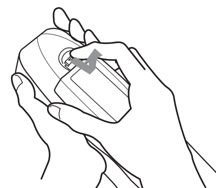
リモコンに電池を入れる

⚠注意　**電池の使用上のご注意： 電池は正しく取り扱ってください。誤った取り扱いは電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚染する原因となることがあります。**

- ●電池はお子様やペットの届かない所に保管してください。
- ●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。
- ●電池を廃棄するときは、廃棄を行う地域の法律や条令に従ってください。

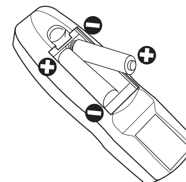
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



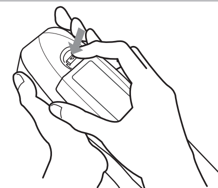
2 電池を入れる

単3形乾電池を⊕ 、⊖ の表示どおりに入れます。



3 電池ぶたを閉める

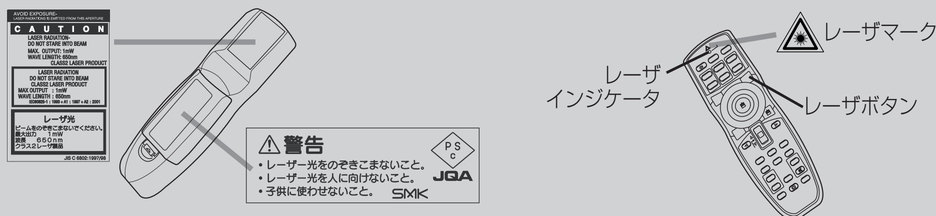
電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。



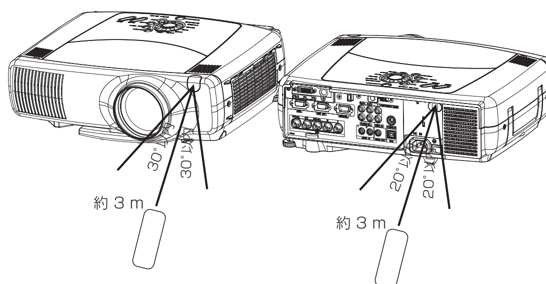
リモコン操作について

⚠警告　レーザ光を目にあてない

リモコン送信機のレーザポインタは指し棒の代わりに使用するものです。レーザ光を直接覗きこんだり、他の人にレーザビームを向けたりしないでください。レーザビームが目にあたると視力障害などの原因となります。また、お子様に使わせないようにしてください。



●リモコンは、本機の前面・後面のリモコン受信部のどちらに向かっても操作することができます。
それぞれのリモコン受光部の正面から約3mの範囲内でお使いください。
リモコン受光部はその他メニューの「リモコン」37で選択できます。
●リモコンは赤外線でプロジェクタに信号を送っています。（クラス1 LED製品）リモコンとプロジェクタのリモコン受光部の間に障害物があると、プロジェクターに信号が届かなくなりますので、障害物がない場所でお使いください。
●ワイヤードリモコンについて：
本機とリモコンのワイヤードリモコン端子をAUDIOケーブル(φ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル)で接続することにより、有線リモコンとしてお使い頂けます。



お守りください　リモコンの使用上のご注意

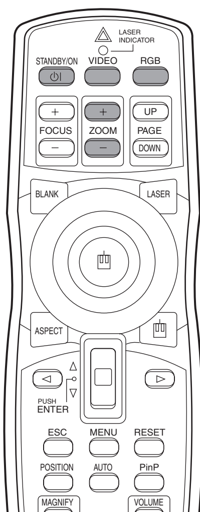
●リモコンを分解しないでください。
●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●リモコンを本機のレンズやファン、通風口の近くに置かないでください。
●長時間ご使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出して保管してください。
●リモコンの操作がしにくくなったら、電池を交換してください。
●プロジェクタのリモコン受光部に直射日光などの強い光や至近距離からのインバータ蛍光灯の光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにプロジェクタの向きを変えてください。

電源の入れかた

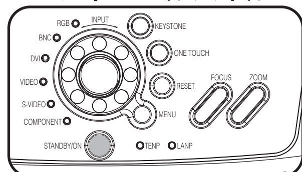
準　備

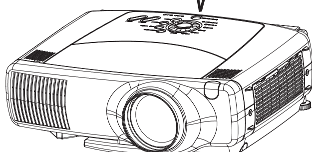
本機の電源を入れる前にお手持ちの機器と接続してください。 17 ～ 20

⚠警告
電源がオンになると強い光が投射されます。レンズをのぞかないでください。



コントロールパネル

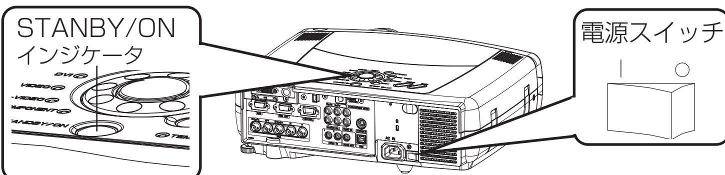




1 電源コードが正しく接続されていることを確認する 12

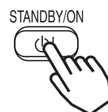
2 本体の電源を入れる

電源スイッチの「I」（入れる）側を押してください。
STANBY/ONインジケータが橙色に点灯します。



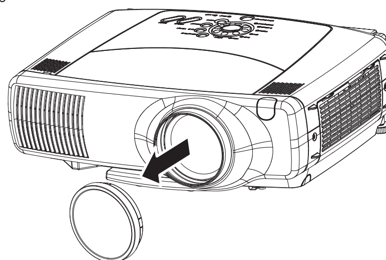
3 コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

ウォームアップが開始されてSTANBY/ONインジケータは緑色に点滅します。
電源オンが完了するとSTANBY/ONインジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。



4 レンズキャップをはずす

投映されます。



お知らせ

接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合には、本機の電源オンはパソコンやビデオより先に、電源オフはパソコンやビデオより後に行ってください。

入力信号を選択する

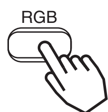
5

リモコンで操作する

RGB入力を選択する場合

RGBボタンを押す

RGB端子に接続された機器を選ぶときに押します。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



●BNC(RGB)選択時：



●BNC(COMPONENT)選択時：



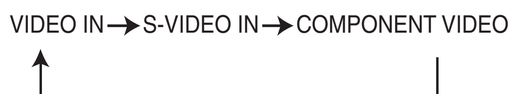
VIDEO入力を選択する場合

VIDEOボタンを押す

VIDEO端子に接続された機器を選ぶときに押します。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



●BNC(RGB)選択時：



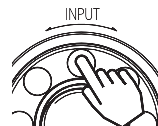
●BNC(COMPONENT)選択時：



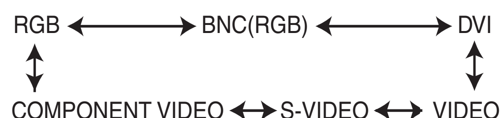
本体で操作する

INPUTダイヤルを回す

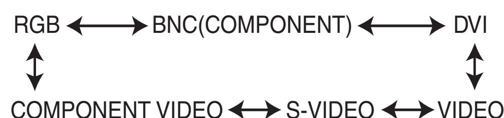
ダイヤルを回すと下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



●BNC(RGB)選択時：



●BNC(COMPONENT)選択時：



お知らせ

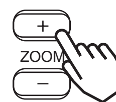
INPUTダイヤルで入力信号を選択する際、INPUTダイヤルをクリックポイントとクリックポイントの間の位置で止めないでください。入力信号の選択が正常に動作しない場合があります。

6

ZOOM ＋ / − ボタンで画面サイズを調節する



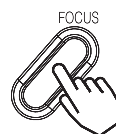
（コントロールパネル）



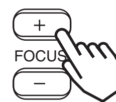
（リモコン）

7

FOCUS ＋ / − ボタンでフォーカスを調節する

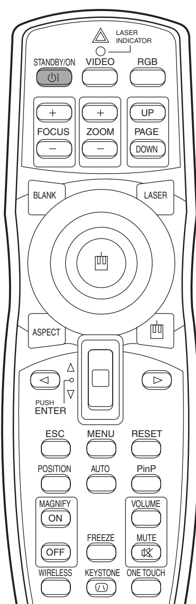


（コントロールパネル）

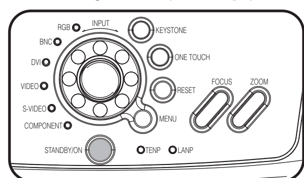


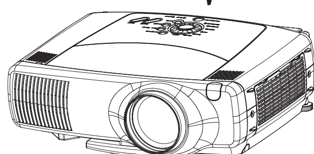
（リモコン）

電源の切りかた



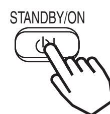
コントロールパネル





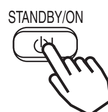
1 コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

「電源を切りますか？」の確認メッセージが約5秒間表示されます。

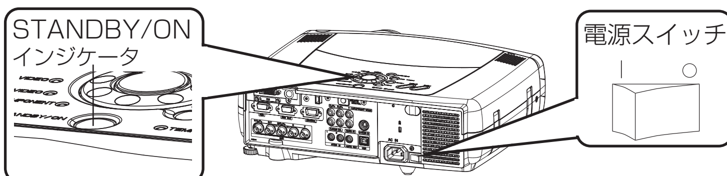


2 もう一度コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

確認メッセージ「電源を切りますか？」の表示中にSTANDBY/ONボタンを押してください。
ランプが消え、ランプの冷却が開始されます。冷却中はSTANDBY/ONインジケータが橙色に点滅し、この状態ではSTANDBY/ONボタンを押しても無効です。
ランプ冷却が完了するとSTANDBY/ONインジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。

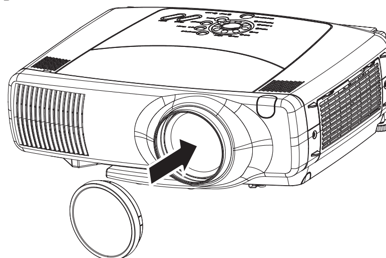


3 STANDBY /ONインジケータが点滅をやめた（橙色点灯）ことを確認してから電源スイッチの「○」（切る）側を押す



4 STANDBY /ONインジケータが消えたのを確認してから、レンズキャップを取り付ける

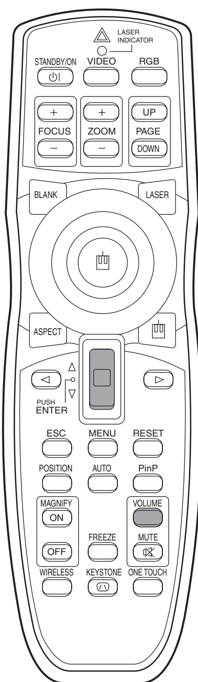
電源オフが完了するとSTANDBY/ONインジケータが消えます。



お知らせ

非常時を除きSTANDBY/ONインジケータが緑色や点滅中に電源スイッチを切らないでください。ランプの寿命を縮めることがあります。

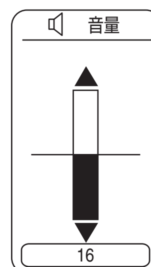
音量を調節する



1 VOLUMEボタンを押す

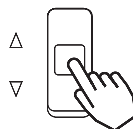
図のような表示が現われて、音量調節ができるようになります。





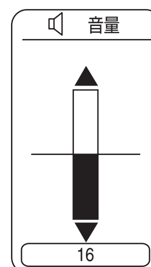
2 レバースイッチ  ,  で音量を調節する

もう一度VOLUMEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で約5秒間経過する）と、表示が消えて音量調節が終了します。

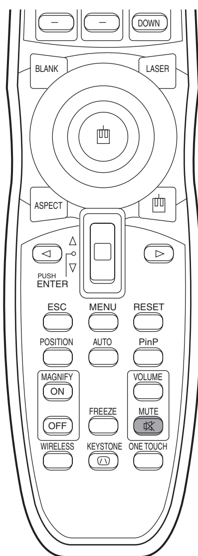


△ 音量が大きくなる

▽ 音量が小さくなる



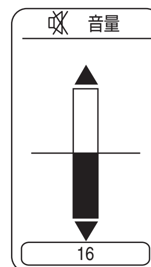
音声を一時的に消す



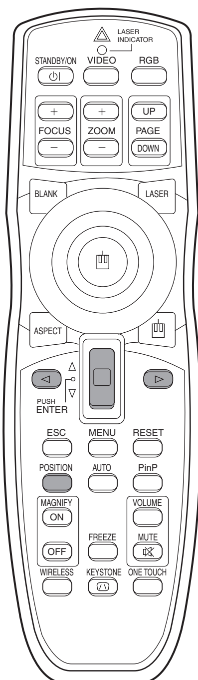
1 MUTEボタンを押す

音が消えます。図のような表示が現われますが、VOLUMEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で約5秒間経過する）と、表示が消えます。MUTEボタンをもう一度押すと音がでます。



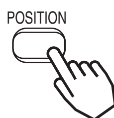


画面位置を調節する



1 POSITIONボタンを押す

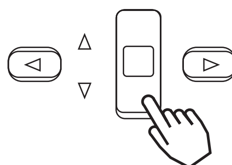
図のような表示が現われて、画面位置の調節ができるようになります。

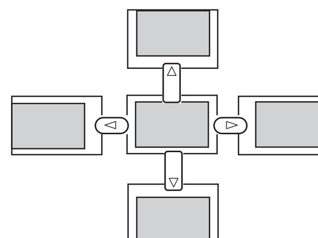




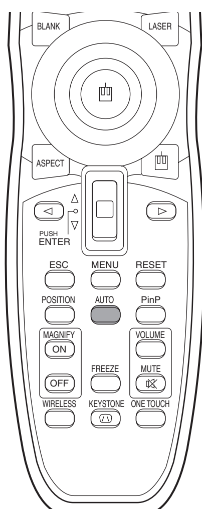
2 ◁,▷,△,▽で画面の位置を調節する

調節の途中で画面位置を初期状態(信号受信時の状態)に戻したい場合は、RESETボタンを押してください。
もう一度POSITIONボタンを押す（または何も操作を行わない状態で数秒間経過する）と、表示が消えて画面位置の調節が終了します。
本機能はRGB/BNC(RGB)の入力でのみ有効です。

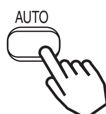




自動的に画面調節する



1 AUTOボタンを押す



RGB入力時の自動調節

「水平位置」「垂直位置」「クロック位相」「水平サイズ」が自動調整されます。
アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。また、暗い映像では正しく調節されない場合があります。明るい映像で実行してください。

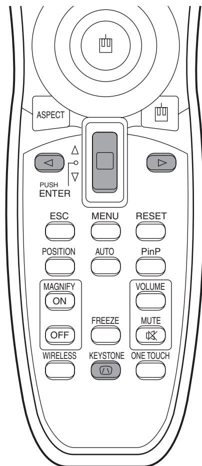
VIDEO入力時の自動調節

信号方式が自動選択されます。
入力メニューの「VIDEO」が「AUTO」に設定されているときのみ有効です。34

お知らせ

自動調整には10秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく機能しない場合があります。

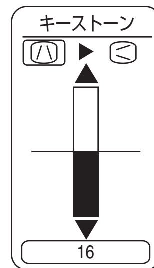
台形歪みを補正する



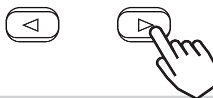
1 KEYSTONEボタンを押す

図のような表示が現われます。



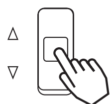


2 ◁,▷ボタンで補正する方向（/\/<）を選択する



3 レバースイッチ△,▽で歪みを補正する

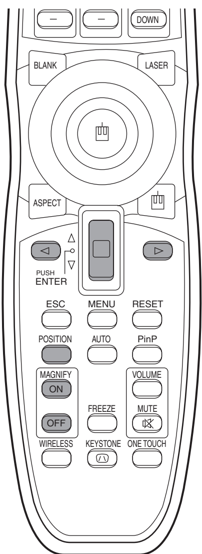
もう一度KEYSTONEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で数秒経過する）と、表示が消えて台形歪みの補正を終了します。



お知らせ

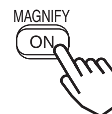
- 入力信号によっては、本機能を操作すると画像が正常表示されない場合があります。
- 歪み補正の可変範囲は、入力信号により異なります。

画面を拡大する

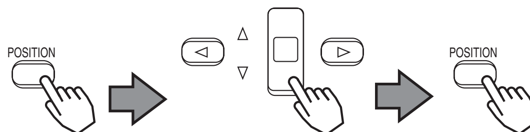


1 MAGNIFY(ON)ボタンを押す

「拡大モード」が設定されます。

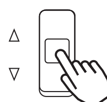


2 POSITIONボタンを押してからレバースイッチ◁,▷,△,▽で拡大領域を選び、もう一度POSITIONボタンを押して拡大領域を確定する



3 レバースイッチ△,▽を押して、拡大倍率を調節する

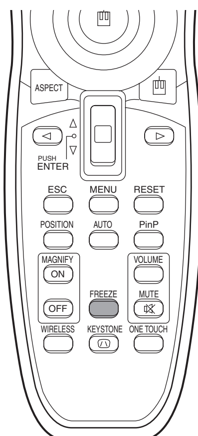
MAGNIFY(OFF)ボタンを押す（または信号入力状態が変化する）と「拡大モード」が解除され、通常の表示にもどります。



お知らせ

拡大モードでは「入力切り換え」「オートアジャスト」「アスペクト」「VIDEO」のいずれかの操作、または信号入力状態の変化によって自動的に解除されます。

映像を静止させる



1 FREEZEボタンを押す



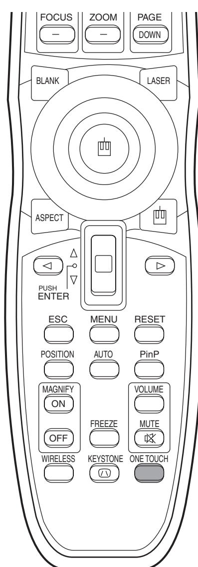
[❙❙]アイコンが表示され、映像が静止します。
もう一度ボタンを押すと[▶]アイコンが表示され、静止が解除されます。

お知らせ

●「位置調節」「音量」「消音」「オートアジャスト」「ブランクオン／オフ」「メニューオン／オフ」のいずれかの操作、または信号入力状態の変化によって自動的に解除されます。
●静止画を表示中に静止モードを設定した場合は解除を忘れないようにご注意ください。同一映像を長時間投映すると、その映像が残像として残ることがあります。

基本的な使いかた

ワンタッチで画面を調節する



お知らせ

●本機能は、入力信号によっては正しく機能しない場合があります。
●本機能では画像が表示されるまでに10秒程度かかります。

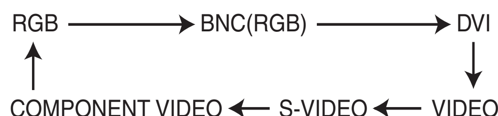
1 ONE TOUCHボタンを押す



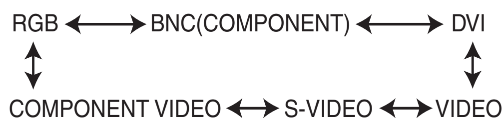
ONE TOUCHボタンを押すだけで、以下の機能を実行することができます。

(1)**信号の検索：**入力信号を順次選択し、検出した信号の画像を表示します。信号が見つからない場合は検索開始前に選ばれていた信号に戻ります。

●BNC(RGB)選択時：



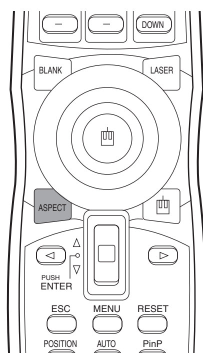
●BNC(COMPONENT)選択時：



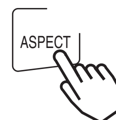
(2)**画像の自動調節：**RGBモードでは画像の位置やサイズの自動調節を、VIDEO入力では信号モードの自動選択を実行します。27

(3)**台形歪みの自動補正：**オートメニューの「ONE TOUCH」で「有効」が選ばれている場合のみ実行します。実行時の本体の設置角度(前後の傾き)に対して、垂直方向の台形歪みを自動補正します。35

画面の縦横比を選ぶ



1 ASPECTボタンを押す



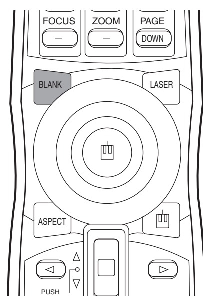
RGB、DVI、
COMPONENT VIDEO
(ハイビジョン信号：1125i(1035i/1080i), 750p)

4:3 ⟷ 16:9

VIDEO IN、S-VIDEO IN、
COMPONENT VIDEO
(ハイビジョン信号以外：525i, 525p, 625i)

4:3 → 16:9 → SMALL (→ 4:3)

画面を一時的に消去する



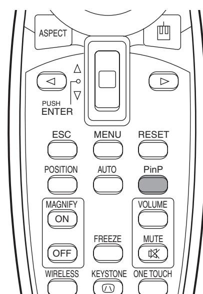
1 BLANKボタンを押す

受信信号の画面を消して「ブランク画面」を表示します。「ブランク画面」はメニュー操作(「スクリーン」メニューの「ブランク」)で設定することができます。36

もう一度BLANKボタンを押すと「ブランク画面」が消え、受信信号の画面に戻ります。

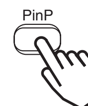


子画面を表示する(P.IN P.=ピクチャーインピクチャー)



1 PinPボタンを押す

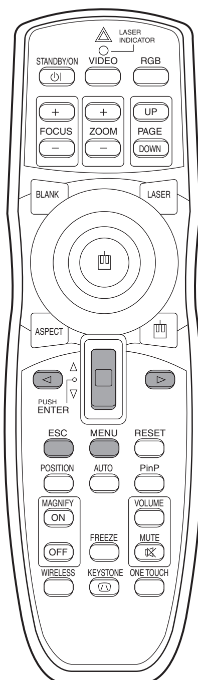
RGB、BNCまたはDVI入力の表示中に、ビデオ入力の子画面を表示することができます。



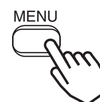
子画面(小)表示 → 子画面(大)表示 → 表示しない (→ 子画面(小)表示)

表示するビデオ入力の選択や子画面表示位置の選択に入力メニューで操作することができます。34

メニュー機能の使いかた



1 MENUボタンを押す

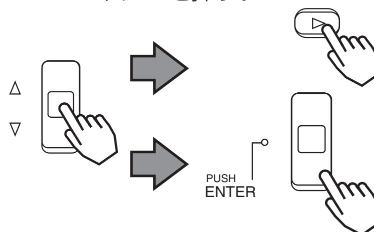


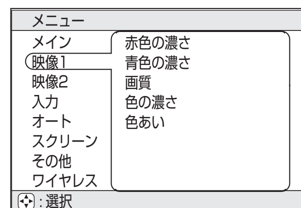
画面上にメニュー表示が表れます。
本機では「メイン」、「映像1」、「映像2」、「入力」、「オート」、「スクリーン」、「その他」、「ワイヤレス」のメニューが用意されています。レバースイッチ△,▽を使ってメニュー名を選ぶと、そのメニューで操作できる項目の現在の設定状態が表示されます。

例：画質を調整したいとき

2 レバースイッチ△,▽でメニューを選び、▷またはENTERボタンを押す

●選んだメニューの表示が現れます。
レバースイッチ△,▽で「映像1」を選び、▷ボタンまたはENTERボタンを押す。

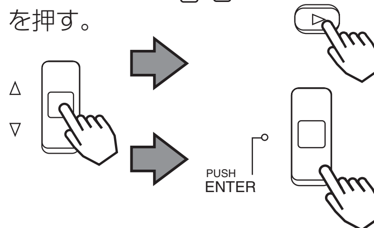


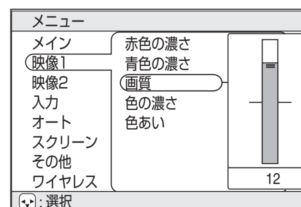


3 レバースイッチ△,▽で「画質」を選び、▷またはENTERボタンを押す

●選んだ項目の操作表示が現れます。数値調節を行う項目ではもう一度▷ボタンまたはENTERボタンを押すと単体メニュー(操作表示部分だけの小さな表示)に切り換えることもできます。

レバースイッチ△,▽で「画質」を選び、▷またはENTERボタンを押す。

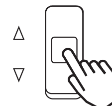




4 レバースイッチ△,▽で調節する

●MENUボタンを押すと、メニューが消えて操作を終了します。また、◁ボタンまたはESCボタンを押すと、一つ前の表示に戻ることができます。

レバースイッチ△,▽で「画質」を調節する。



お知らせ

メニュー操作の詳細については本書の「各種機能の設定」をご覧ください。32

基本的な使いかた

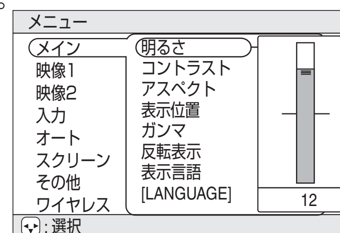
各種機能の設定

本機は「メイン」「映像1」「映像2」「入力」「オート」「スクリーン」「ワイヤレス」「その他」の8つのメニューを持っており、どのメニューも同様の方法で操作することができます。メニューの基本操作については以下の通りです。

メニュー画面表示　：MENUボタンを押す。
メニュー選択　：レバースイッチ△,▽でメニュー名を選び、▷ボタンまたはENTERボタンを押す。
項目選択　：レバースイッチ△,▽で項目を選び、▷ボタンまたはENTERボタンを押す。
メニュー表示を一つ前に戻す：◁ボタンまたはESCボタンを押す。
調節・設定の実施　：レバースイッチ△,▽で操作する。（詳細は各メニューの説明をお読みください。）
調節・設定の初期化：操作中にRESETボタンを押す。（クロック位相、言語選択、およびオートアジャストなど、操作と同時に機能が実行される項目は、初期化されません。）
メニュー操作終了　：MENUボタンを押すか、数秒間何も操作を行わない。

メインメニュー

メインメニューでは下表の7つの項目を操作することができます。
下表に従って操作してください。



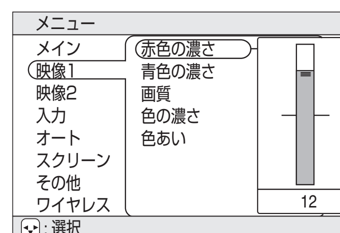
例：メインメニュー
（明るさ）

メインメニュー

設定項目	操作内容
明るさ	**明るさの調節：**明るく △ ⇔ ▽ 暗く
コントラスト	**コントラストの調節：**強く △ ⇔ ▽ 弱く
アスペクト	**アスペクト（画面の縦横比）の選択：** RGBまたはCOMPONENT VIDEOハイビジョン1125i(1035i/1080i)/750p入力のとき：4:3 ▽ ⇔ △ 16:9 VIDEO、S-VIDEOまたはCOMPONENT VIDEO 525i/525p/625i入力のとき： 4:3 ▽ ⇔ △ 16:9 ▽ ⇔ △ 4:3小 ●入力信号によっては「4:3小」の画面が正しく表示されないことがあります。
表示位置	**アスペクト「16:9」/「4:3小」表示位置の選択：** 上段 ▽ ⇔ △ 　中段 ▽ ⇔ △ 下段
ガンマ	**ガンマモードの選択**： ノーマル ▽ ⇔ △ シネマ ▽ ⇔ △ ダイナミック
反転表示	**反転モードの選択**：△/▽ボタンで選択する。 通常表示 ▽ ⇔ △ 左右反転 ▽ ⇔ △ 上下反転 ▽ ⇔ △ 上下左右反転
表示言語 [Language]	**メニュー表示言語の選択：** ENGLISH ▽ ⇔ △ FRANÇAIS ▽ ⇔ △ DEUTSCH ▽ ⇔ △ ESPAÑOL ▽ ⇔ △ ITALIANO ▽ ⇔ △ NORSK ▽ ⇔ △ NEDERLANDS ▽ ⇔ △ 日本語 ▽ ⇔ △ POTUGUÊS ▽ ⇔ △ 中文 ▽ ⇔ △ 한글

映像1メニュー

映像1メニューでは下表の5つの項目を操作することができます。
下表に従って操作してください。



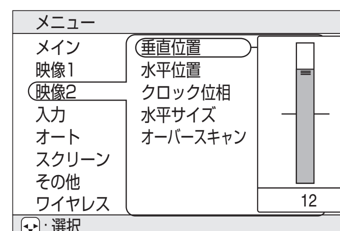
例：映像1メニュー（赤色の濃さ）

映像1メニュー

設定項目	操作内容
赤色の濃さ	赤色の濃さ調節：濃く △ ⇔ ▽ 淡く
青色の濃さ	青色の濃さ調節：濃く △ ⇔ ▽ 淡く
画質	画質の調節（VIDEO/S-VIDEO入力）：くっきり △ ⇔ ▽ やわらかく
色の濃さ	色の濃さ調節 (VIDEO/S-VIDEO/COMPONENT VIDEO入力)： 濃く △ ⇔ ▽ 淡く
色あい	色あいの調節 (VIDEO/S-VIDEO入力)：緑っぽく △ ⇔ ▽ 赤っぽく

映像2メニュー

映像2メニューでは下表の5つの項目を操作することが
できます。
下表に従って操作してください。

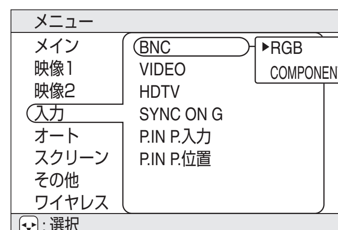


映像2メニュー

例：映像2メニュー（垂直位置）

設定項目	操作内容
垂直位置	垂直位置の調節 (RGB入力)：上へ △ ⇔ ▽ 下へ
水平位置	水平位置の調節 (RGB入力)：左へ △ ⇔ ▽ 右へ
クロック位相	クロック位相の調節 (RGB/COMPONENT VIDEO入力)：右へ △ ⇔ ▽ 左へ ちらつきが無くなるように調節してください。
水平サイズ	水平サイズの調節 (RGB入力)：大きく △ ⇔ ▽ 小さく ●水平サイズを大きく調節しすぎると 画像が正常に表示されなくなることがあります。この場合は水平サイズ調節中にRESETボタンを押して初期化し、調節しなおしてください。
オーバースキャン	オーバースキャン率（表示率）の選択（VIDEO/S-VIDEO/COMPONENTO VIDEO入力)： 大 ▽ ⇔ △ 中 ▽ ⇔ △ 小 「大」を選ぶと、画面の表示領域に現われる画像情報が増え、表示上の文字などは小さくなります。「小」を選ぶと、画面の表示領域に現われる画像情報が減り、表示上の文字などは大きくなります。 ●「大」を選ぶと、画面の上下部に筋状の模様やちらつきが出ることがあります。 気になる場合は「小」を選ぶことをおすすめします。

入力メニュー



例：入力メニュー(VIDEO)

入力メニューでは下表3つの項目を操作することができます。
またRGB入力では入力メニューの初期画面に受信信号の水平および垂直波数が表示されます。下表に従って操作してください。

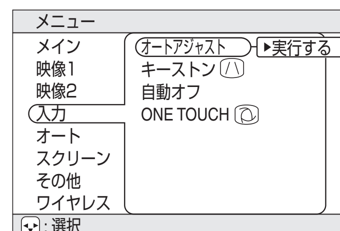
入力メニュー

設定項目	操作内容
BNC	**BNC端子(R/CR/PR,G/Y,B/CB/PB,H,V)の機能選択：** BNC(RGB) ▽ ⇔ △ BNC(COMPONENT) (R)(G)(B)(H)(V) (RGB時端子)　(CR/PR)(Y)(CB/PB)(-)(-) (COMPONENT時端子) 「BNC(RGB)」が選択されていると、RGB2の5つの端子(R/CR/PR,G/Y,B/CB/PB,H,V)はそのままRGB信号のBNC入力用として使用できます。 「BNC(COMPONENT)」を選択すると、RGB2の5つの端子のうち左寄り3つの端子(R/CR/PR,G/Y,B/CB/PB)を、COMPONENT VIDEO入力用のCR/PR,Y,B/CB端子として使用することができます。
VIDEO	**信号モードの選択 (VIDEO/S-VIDEO入力)：** AUTO ▽ ⇔ △ NTSC ▽ ⇔ △ PAL ▽ ⇔ △ SECAM ▽ ⇔ △ NTSC4.43 ▽ ⇔ △ M-PAL ▽ ⇔ △ N-PAL この機能はVIDEO/S-VIDEO入力で画像が不安定な場合.（画像が乱れる、色がつかない、など)にご使用ください。 「AUTO」を選択すると、オートメニューの項目「オートアジャスト」35 のVIDEO/S-VIDEO入力での機能が有効になり、同時に実行されて、上記のモードの中から適切な信号モードが自動選択されます。 ●この機能は、PAL60など、信号入力によっては正しく機能しない場合があります。 ●この機能の実行には10秒程度の時間がかかります。 ●COMPONENT VIDEO入力については、この機能は無効ですが、信号は自動的に識別されます。HDTV信号については項目「HDTV」（本表、下）をご覧ください。
HDTV	**HDTV信号モードの選択：** 1080i ▽ ⇔ △ 1035i ●入力信号に適切でないモードが選択されると、画像が正常に表示されない場合があります。
SYNC ON G	**SYNC ON Gモードの有効化/無効化：** 有効 ▽ ⇔ △ 無効 「有効」を選択するとSYNC ON Gモードが設定されて、シンクオングリーン信号の受信が可能になります。 ●SYNC ON Gモードでは、入力信号によっては画像が正常に表示されないことがあります。その場合は、信号ケーブルを抜いて無信号状態にして本項目「SYNC ON G」で「無効」を選択してください。再度信号ケーブルを接続し、信号を入力しなおしてください。
P.IN P.入力	**P.IN P.画面(*)の入力信号の選択：** VIDEO ▽ ⇔ △ S-VIDEO P.IN P.画面(子画面)に表示する信号を選択します。
P.IN P.位置	**P.IN P.画面(*)の表示位置の選択：** [■　] ▽ ⇔ △ [　■] ▽ ⇔ △ [■　] ▽ ⇔ △ [　■] P.IN P.画面(子画面)に表示する位置を選択します。

(*)P.IN P.(ピクチャーインピクチャー)はRGB信号の画像を表示中の画面上に、子画面(P.IN P.画面)でビデオ信号の画像を表示する機能です。(「子画面を表示する」30)

オートメニュー

オートメニューでは下表 4 つの項目を操作することができます。
下表に従って操作してください。



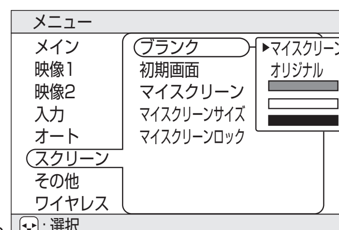
例：オートメニュー
(オートアジャスト)

オートメニュー

設定項目	操作内容
オートアジャスト	**画像の自動調整 ：** **RGB入力のとき ：** 入力信号に合わせて、垂直位置、水平位置、クロック位相、および水平サイズを自動的に調整します。アプリケーション表示のウィンドウを最大表示にして実行してください。 **VIDEO/S-VIDEO入力のとき：** 入力信号に合わせて、適切な信号モードを自動的に選択します。この機能は入力メニューの項目「VIDEO」34 で「AUTO」が選択されているときのみ有効です。 ●この機能は、PAL60など、信号入力によっては正しく機能しないことがあります。 ●この機能の実行には10秒程度の時間がかかります。 ●COMPONENT VIDEO入力については、この機能は無効ですが、信号は自動的に識別されます。HDTV信号については入力メニューの項目「HDTV」34 をご覧ください。
キーストン	**台形歪み自動補正の実行：** 本機の設置角度(前後の傾き)に対応して、自動で縦方向の台形歪みを補正することができます。 ●投射スクリーンが傾いている場合やプロジェクタが下に向いている場合、メインメニューの「反転表示」で「上下反転」または「上下左右反転」が選ばれている場合は正しい補正ができないことがあります。 ●ズーム調整がTELE側では、自動補正が過大になる場合があります。この機能はできるだけWIDE側でお使いください。
自動オフ	**自動オフ時間の設定：** 長く (最長 99分) ▽ ⇔ △ 短く (最短 1分) ▽ ⇔ △ (無効: 0分) 正常な信号入力が無い（信号が入力されていない、または仕様外の信号が入力されている）状態がこの項目で設定した時間だけ継続すると、スタンバイモード（「電源の入れかた」23 ）が設定されます。 「無効（0min)」を選択するとこの機能は無効になります。
ONE TOUCH	**ONE TOUCH ボタンによるキーストン 機能の有効化/無効化 ：** 有効 ▽ ⇔ △ 無効 ONE TOUCHボタンを押すと入力信号の自動検索と画面の自動調整が実行されます。(「ワンタッチ画面で調節する」27)が、このとき同時にキーストン (本表、上)を実行するように設定することができます。「有効」が選ばれているとキーストンを実行します。

各種機能の設定

スクリーンメニュー



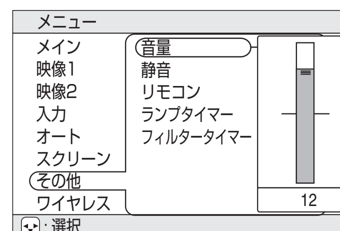
例：スクリーンメニュー（ブランク）

スクリーンメニューでは下表の5つの項目を操作することができます。
下表に従って操作してください。

スクリーンメニュー

設定項目	操作内容
ブランク	**ブランク画面の選択：** マイスクリーン ▽ ⇔ △ オリジナル ▽ ⇔ △ ▭ ▽ ⇔ △ ▭ ▽ ⇔ △ ■ 「ブランク画面」 を選択することができます。「ブランク画面」はBLANKボタンによって画面が消去された（「画面を一時的に消去する」30 ）ときに表示されます。 **マイスクリーン：**項目「マイスクリーン」（本表、下）でお好みの画面が登録できます。工場出荷時には青色の無地画面が設定されています。 **オリジナル：**既成の標準画面です。実際の画面でご確認ください。 **その他：**メニュー上に表示される各色の無地画面です。 ●「マイスクリーン」および「オリジナル」の画面は、表示から数分後に黒の無地画面に変わります。
初期画面	**初期画面の選択：** マイスクリーン ▽ ⇔ △ オリジナル ▽ ⇔ △ 表示しない 「初期画面」を選択することができます。「初期画面」は正常な信号入力が無い（信号が入力されていない、または仕様外の信号が入力されている）と表示されます。 **マイスクリーン：**項目「マイスクリーン」（本表、下）でお好みの画面が登録できます。工場出荷時には青色の無地画面が設定されています。 **オリジナル：**既成の標準画面です。実際の画面でご確認ください。 **表示しない：**青色の無地画面です。 ●「マイスクリーン」および「オリジナル」の画面は、表示から数分後にブランク画面(本表、上)に変わります。ブランク画面が「マイスクリーン」または「オリジナル」の場合はすぐに黒の無地画面になります。
マイスクリーン	**マイスクリーンの登録：** この項目を実行すると、ブランク画面や初期画面のための「マイスクリーン」を登録するためのマイスクリーンメニューが表示されます。メニューに従って操作すると、表示中の受信映像からお好みの画面を切り取って登録することができます。 1.「画像の取り込みを開始しますか？」のメッセージが表示されます。ESC(またはRESET)ボタンを押すとマイスクリーンの実行を中止します。ENTERボタンを押すと画像が静止し、画面切り取り用の枠と、次のメッセージが現われます。登録したい画面を表示中にボタンを押してください。 2.「位置を設定して下さい。」のメッセージが表示されたら、ESC(またはRESET)ボタンを押すと、画像の静止が解除されて1の操作からやり直すことができます。 ◁,▷,△,▽ で枠を移動し、登録したい画面を指定してENTERボタンを押すと、画面の登録を開始します。登録には約1分程度かかります。 3. 登録が完了すると、登録されたマイスクリーンの画面と「マイスクリーンの画像登録が完了しました。」のメッセージが数秒間表示されて、操作を終了します。
マイスクリーンサイズ	**マイスクリーン表示サイズの選択：** x 1 ▽ ⇔ △ フル
マイスクリーンロック	**マイスクリーン登録禁止機能の有効化/無効化：** 有効 ▽ ⇔ △ 無効 「有効」を選択すると、項目「マイスクリーン」（本表、上）が実行できなくなり、マイスクリーン画面の書き換えを禁止することができます。

その他メニュー



例：その他メニュー（音量）

その他メニューでは下表の5つの項目を操作することができます。下表に従って操作してください。

その他メニュー

設定項目	操作内容
音量	**音量の調節**　大きく ▽ ⇔ △ 小さく
静音	**静音モードの有効化/無効化：** 標準モード ▽ ⇔ △ 静音モード 「静音モード」を選択すると、プロジェクタが動作中に発する騒音を低減することができます。画像の明るさもやや抑えられます。
リモコン	**リモコン受光部の選択：** 本機には右図の3箇所のリモコン受光部（1，2，3）があります。どれを有効（図中[v]）にし、どれを無効にするかの組み合わせを選択することができます。 ●周囲の照明などの影響で、リモコン操作が正常に働かないことがあります。このような場合は、この機能を使って不要な光の影響を受ける受光部を無効にしてください。 1☑ 2☐ 3☑ 1☑ 2☑ 3☐ 1☐ 2☑ 3☑ 1☐ 2☑ 3☐ 1☑ 2☐ 3☐ 1☐ 2☐ 3☑ 1☑ 2☑ 3☑
ランプタイマー	**ランプタイマーの参照：** この項目を選ぶと、現在使用しているランプの使用時間（前回ランプタイマーが初期化されてから現在までの時間）を参照することができます。 **ランプタイマーの初期化 [ランプ交換時のみ実施のこと]：** ランプタイマーの参照中にRESETボタンを3秒以上押しつづけると、ランプタイマー初期化用のメニューが表示されます。ランプを交換した場合にのみ、「初期化する」を選択してください。ランプタイマーが初期化されます。 初期化する⇐ △ 初期化しない ●ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。また、ランプを交換した場合には必ずランプタイマーを初期化してください。タイマーが正しく初期化されないと、交換メッセージなどの機能が正しく働きませんのでご注意ください。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプについて」38 をお読みください。
フィルタータイマー	**フィルタータイマーの参照：** この項目を選ぶと、現在使用しているエアフィルタの使用時間（前回フィルタータイマーが初期化されてから現在までの時間）を参照することができます。 **フィルタータイマーの初期化 [フィルタ掃除/交換時のみ実施のこと]：** フィルタータイマーの参照中にRESETボタンを3秒以上押しつづけると、フィルタータイマー初期化用のメニューが表示されます。エアフィルタを掃除または交換した場合にのみ、「初期化する」を選択してください。フィルタータイマーが初期化されます。 初期化する⇐ △ 初期化しない ●エアフィルタを掃除または交換せずにフィルタータイマーを初期化しないでください。また、エアフィルタを掃除または交換した場合には必ずフィルタータイマーを初期化してください。タイマーが正しく初期化されないと、メッセージなどの機能が正しく働きませんのでご注意ください。 ●エアフィルタ掃除の際は必ず「エアフィルタについて」40 をお読みください。

ワイヤレスメニュー

ワイヤレスメニューはネットワーク機能が有効の場合にのみ有効です。ネットワーク機能のご利用には別途オプションの「ワイヤレスLAN/LANユニット(PJX35-WL1)」が必要です。ワイヤレスメニューについては「ワイヤレスLAN/LANユニット(PJX35-WL1)」の取扱説明書をご覧ください。ネットワーク機能および「ワイヤレスLAN/LANユニット(PJX35-WL1)」についてはご購入元またはそれぞれのお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にお尋ねください。

ランプについて



感電注意
高温注意
破裂注意

ランプの取り扱い先は下記の通りです。
お問い合わせ先：富士通コワーコ株式会社 マーケティング本部　営業推進部
TEL：（03）3342-5245
〔別途サプライ品ランプユニット：0637360〕
ランプ交換のまえには、必ず電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取り扱いは火傷や破裂の原因となります。

⚠警告 本液晶プロジェクタに使用のランプはガラス製で、内部圧力の高い水銀ランプです。高圧水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。ランプはそれぞれのランプによって寿命に大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクタの通風口から出たりすることがあります。

●天吊り設置状態ではランプカバーを開けないでください。万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。

●ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。

●ランプは長時間ご使用になったり、交換時期を越えてご使用になると、破裂する可能性が高くなります。ランプ交換の指示（48、49）が出た場合はこれに従って、お早めにランプ交換を行ってください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。

●ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電気的障害をともなっている場合があります。このような場合はご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51）にご相談ください。

●万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は換気を十分にして、プロジェクタの通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようにご注意ください。

●万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によってプロジェクタ内部を傷つけたり、取り扱い時にけがの原因となることがありますので、お客様による清掃やランプ交換はおやめください。

●使用済みランプの廃棄については、廃棄を行う地域の条令や規則に従ってください。一般的にはガラスやビンと同類として扱われる場合が多いですが、ランプなどを分別収集の対象にしているところもありますのでご注意ください。

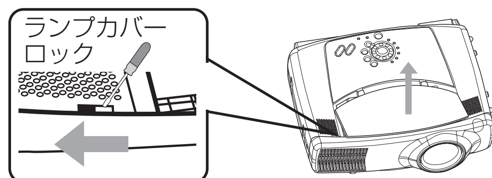
●ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプの交換について

プロジェクタのランプには寿命があり、長時間使用すると映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。お早めの交換をお勧めします。LAMPインジケータが赤色に点灯したり、電源オン時に「ランプを交換して下さい。」などのメッセージが表示された場合は交換が必要です。
（「メッセージについて」 48 または「インジケータランプについて」 49 ご参照）

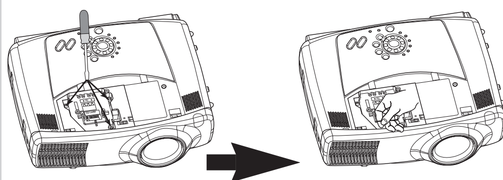
1 プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上おいて冷ます。
交換用の新しいランプを準備する。

2 プロジェクタが十分冷めたのを確認する。
ランプカバーロックを図のようにスライドさせて外し、浮き上がった部分をつまんでカバーを外す。



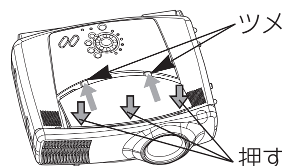
3 図に従って3本のネジをゆるめ、取っ手部分を持って静かにランプを取り外す

●ランプハウスの内部には触れないようにご注意ください。



4 新しいランプを取り付け、3本のネジをしっかりと締めて固定する

5 ランプカバーの2箇所のツメをプロジェクタ側に合わせながらもとのように取り付け、図の3箇所を押してきちんと閉めてください。



6 プロジェクタの電源を入れ、メニュー操作でランプタイマーを初期化する

●ランプタイマーの初期化は、その他メニューの「ランプタイマー」 37 の項に従って行ってください。

お守りください

●ネジ止めはしっかりと確実に行ってください。不完全なネジ止めはけがや故障の原因となることがあります。
●ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。
●「0時間後に電源を切ります。」のようなメッセージが表示された後に交換を行った場合は、電源オンから10分以内にランプタイマーの初期化を完了してください。10分を超えると電源が自動的にオフになります。
●ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。また、ランプ交換時には必ず初期化してください。ランプタイマーが正しく初期化されないとメッセージなどの機能が正しく働きませんのでご注意ください。

お知らせ

LAMPインジケータは、ランプ部が高温になった場合にも赤色に点灯します。ランプ交換するまえに、電源をオフして20分程度おき、再び電源をオンしてください。再びLAMPインジケータが赤色に点灯した場合はランプ交換が必要です。

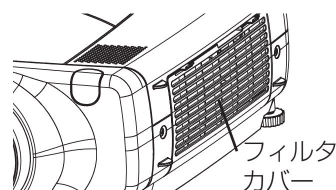
エアフィルタについて

エアフィルタのお手入れ

エアフィルタは、約100時間を目安に掃除を行ってください。LAMPインジケータとTEMPインジケータが同時に赤色点滅したり、電源オン時に「エアーフィルターを掃除して下さい。」などのメッセージが表示された場合は掃除が必要です。（「メッセージについて」 48 または「インジケータランプについて」 49 ご参照）

1 プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜く

2 フィルタカバーの上からエアフィルタ部を掃除機で掃除する



3 プロジェクタの電源を入れ、メニュー操作でフィルタータイマーを初期化する

●フィルタータイマーの初期化は、その他メニューの「フィルタータイマー」の項に従って行ってください。 37

エアフィルタの交換

エアフィルタの汚れが落ちなくなったり破損した場合は交換が必要です。
ご購入元にお問合せください。

1 プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、新しいエアフィルタ（指定のもの）を準備する

2 フィルタカバーとエアフィルタを取り外す

3 新しいフィルタを入れ、フィルタカバーを取り付ける

4 プロジェクタの電源を入れ、メニュー操作でフィルタータイマーを初期化する

●フィルタータイマーの初期化は、その他メニューの「フィルタータイマー」の項に従って行ってください。37

お守りください

●お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
●エアフィルタを外した状態で本機をご使用にならないでください。
●ほこりなどによりエアフィルタがつまりますと、プロジェクタ内部の温度が上昇して故障の原因となることがあります。内部の温度上昇を防ぐために自動的に電源がオフになることがあります。

その他のお手入れについて

レンズのお手入れ：

市販のレンズクリーニングペーパーで軽く拭いてください。レンズには直接手を触れないでください。

キャビネット、リモコン送信機のお手入れ：

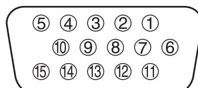
ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭いてください。さらに、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。

お守りください

●お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
●ベンジンやシンナーなど上記以外の洗剤や薬品はご使用にならないでください。
●スプレーはご使用にならないでください。
●硬いもので擦ったり、叩いたりしないでください。

信号入/出力端子ピン配置

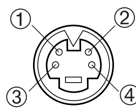
RGB IN [1]/[2]
RGB OUT



Dサブ15ピン・シュリンク端子

Dサブ15ピン・シュリンク端子	
ピンNo.	信号
1	映像入力（赤）
2	映像入力（緑）
3	映像入力（青）
4	―
5	接地
6	接地（赤）
7	接地（緑）
8	接地（青）
9	―
10	接地
11	―
12	RGB IN [1] : SDA(DDC)
	RGB IN [2] : ―
	RGB OUT : ―
13	水平同期 / 複合同期
14	垂直同期
15	RGB IN [1] : SCL(DDC)
	RGB IN [2] : ―
	RGB OUT : ―

S-VIDEO



ミニDIN4ピン端子

ミニDIN4ピン端子	
ピンNo.	信号
1	色信号 NTSC,バースト： 0.286V(p-p),75Ω終端 PAL/SECAM,バースト： 0.3V(p-p),75Ω終端
2	輝度信号
3	接地
4	接地

信号	端子	仕様
RGB信号入力	RGB	映像信号：RGBセパレート、アナログ、0.7V(p-p)、75Ω終端（正極性） 水平/垂直同期信号：TTLレベル（正極性/負極性） 複合同期信号：TTLレベル Dサブ15ピン・シュリンク　ジャック
	BNC(RGB) (R,G,B,H,V)	映像信号：RGBセパレート、アナログ、0.7V(p-p)、75Ω終端（正極性） 水平/垂直同期信号：TTLレベル（正極性/負極性） 複合同期信号：TTLレベル BNCコネクタ×5
	DVI	TMDS、DC150-1200mV/AC1.56Vp-p、TTLレベル（正極性/負極性） DVIコネクタ
	AUDIO IN 1 AUDIO IN 2	200mV(rms)、57kΩ(最大 3.0V(p-p)) ステレオミニジャック
VIDEO信号入力	VIDEO IN	1.0V(p-p)、 75Ω終端、　RCAジャック
	S-VIDEO IN	輝度信号：1.0V(p-p), 75Ω終端 色信号（NTSC,バースト）： 0.286V(p-p)、 75Ω終端 色信号(PAL/SECAM, バースト)： 0.300V(p-p)、 75Ω終端 ミニDIN4ピン・ジャック
	COMPONENT　VIDEO (CR/PR、CB/PB、Y) BNC(COMPONENT) (CR/PR、CB/PB、Y)	Y信号：1.0V(p-p)、75Ω終端 CR/PR信号：0.7V(p-p)、75Ω終端 CB/PB信号：0.7V(p-p)、75Ω終端 RCAジャック×3(BNCコネクタ×5共用)
	AUDIO IN（R、L）	200mV(rms), 57kΩ（最大3.0V(p-p)）、RCAジャック
信号出力	RGB OUT	映像信号：RGBセパレート、アナログ0.7V(p-p)、75Ω (正極性) 同期信号：H,Vセパレート、TTLレベル (正極性/負極性) 複合同期信号：TTLレベル Dサブ15ピン·シュリンク·ジャック
	AUDIO OUT	200mV(rms)、出力インピーダンス1kΩ（最大3.0V(p-p)） ステレオミニジャック
コントロール機能	CONTROL	Dサブ15ピンシュリンクプラグ
	USB	USBジャック(Bタイプ)

付録

パソコン表示信号について

解像度 H×V	fH (kHz)	fV (Hz)	規格	信号モード	表示モード	アナログ RGB入力	デジタル DVI入力
720×400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大	○	○
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)	拡大	○	○
640×480	35.0	66.7		Mac13"mode	拡大	○	○
640×480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)	拡大	○	○
640×480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)	拡大	○	○
640×480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)	拡大	○	○
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)	拡大	○	○
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)	拡大	○	○
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)	拡大	○	○
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)	拡大	○	○
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)	拡大	○	○
832×624	49.7	74.5		Mac16"mode	拡大	○	○
※1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)		○	○
※1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)		○	○
※1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)		○	○
※1024×768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)		○	○
1152×864	67.5	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小	○	○
1280×960	60.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小	○	○
1280×1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小	○	○
1280×1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小	○	

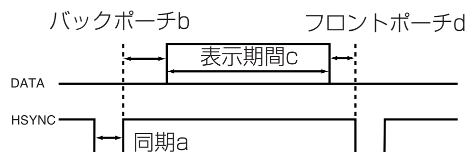
※推奨モードです。

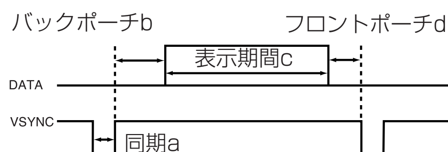
お知らせ

●パソコンによっては複数の表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合もあります。
●本機とパソコンを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
●入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。
●コンポジット、シンクオングリーンなどの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
●本機は解像度UXGA(1600X1200)の信号まで表示することができますが、プロジェクタのパネル解像度に変換されて表示されます。入力信号の解像度がプロジェクタのパネル解像度と同じである場合に最良のディスプレイ・パフォーマンスが達成できます。
●上記表以外の解像度、およびタイミングが大きく外れた信号は入力しないでください。画面が乱れるなど正しく表示できない場合や故障の原因になります。
●本機はインタレースモードには対応していません。

初期設定信号について

本機では下記の信号を初期設定していますが、パソコンは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じてメニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。





パソコン/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA (72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152x864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280x960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
1280x1024 (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
1280x1024(75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.2

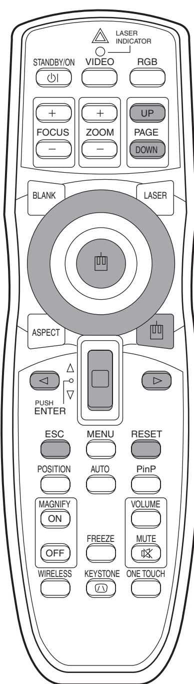
パソコン/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
Mac 13"mode	3	39	480	3
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16"mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152x864 (75Hz)	3	32	864	1
1280x960 (60Hz)	3	36	960	1
1280x1024 (60Hz)	3	38	1024	1
1280x1024(75Hz)	3	37	1024	2

パソコンの画面を操作する

リモコンを簡易的なマウスとして使ったり、キーボードの一部として使うことができます。

⚠ 注意

マウス／キーボード・コントロールについてのご注意： 誤った取り扱いは機器故障の原因となることがあります。
●パソコン以外には接続しないでください。
●接続まえには必ず接続する機器の説明書をお読みください。
●パソコンの動作中には接続ケーブルを抜き差ししないでください。



USBマウス／キーボード・コントロール

1.プロジェクタのUSB端子とパソコンを、USBケーブルで接続してください。
下表のコントロールができます。

できること	リモコンの操作
カーソル移動	ディスクパッド ◯ で移動する
マウスの左ボタンのクリック	ディスクパッドの真中 ◯ を押す
マウスの右ボタンのクリック	右マウスボタン ◯ を押す
キーボードの ◁ ▷ △ ▽ キー押下	◁ ▷ △ ▽ を押す
キーボードのENTERキー押下	ENTERボタンを押す
キーボードのPAGE UPキー押下	PAGE UPボタンを押す
キーボードのPAGE DOWNキー押下	PAGE DOWNボタンを押す
キーボードのESCキー押下	ESCボタンを押す

PS/2、ADB・マウスコントロール

1.プロジェクタおよびパソコンの電源を切り、プロジェクタのCONTROL端子をマウスケーブル(オプション)でパソコンに接続してください。
2.USBケーブル(オプション)が接続されている場合は外してください。USBケーブルが接続されているとUSBコントロール機能が優先されてCONTROL端子からのマウスコントロールが機能しません。
3.先にプロジェクタ、次にパソコンの順で電源をオンにしてください。
下表のコントロールができます。うまく機能しない場合はパソコンを再起動（ソフトリセットまたはリセットスイッチを操作）してください。

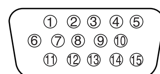
できること	リモコンの操作
カーソル移動	ディスクパッド ◯ で移動する
マウスの左ボタンのクリック	ディスクパッドの真中 ◯ を押す
マウスの右ボタンのクリック	右マウスボタン ◯ を押す

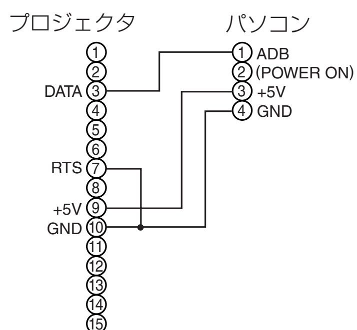
お知らせ

●ノートパソコンなどでポインティングデバイス（トラックボールなど）が内蔵されていると、本機のコントロールが実行できないことがあります。この場合は接続まえにコンピュータのBIOS設定（システムセットアップ）で外部マウスを選択し、ポインティングデバイスを無効にしてください。またパソコンによってはユーティリティプログラムが無いとマウスが動かないものがあります。詳細はパソコンのハードウェアの説明書をご覧ください。
●本機のUSBコントロールはWindows95バージョンOSR2.1以上でご使用になれます。パソコンの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合があります。
●本機のUSBコントロールは上記の機能のみ有効です。ボタンの同時押し操作（例：▷ ボタンと △ ボタンの同時押しで右斜め上へのカーソルを移動する）などは実行できません。
●ランプのウォームアップ（POWERインジケータが緑色に点滅）中、音量の調節や表示位置の調節、台形歪みの補正、画面の拡大、またはブランク機能を実行しているとき、およびメニュー画面を表示しているときには、本機能は無効です。

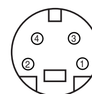
ADBマウス

コントロール端子
Dサブ15ピンシュリンク



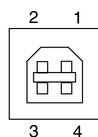


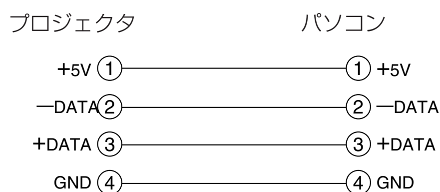
マウスジャック
Mini DIN 4-ピン



USBマウス

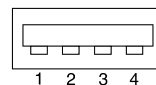
USBジャック
(B type)





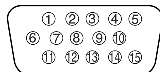
USBケーブル

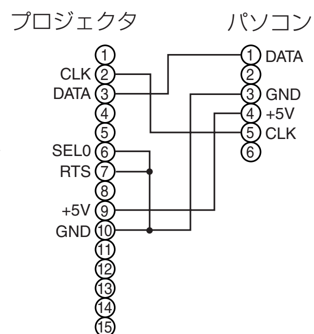
USBジャック
(A type)



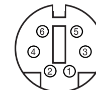
PS/2マウス

コントロール端子
Dサブ15ピンシュリンク





マウスジャック
Mini DIN 6-ピン



付録

故障かな？と思ったら

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問合せの多いトラブルに関する症状、原因、対処法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」 51 ）にご相談ください。

メッセージについて

本機では電源オン時、下表のようなメッセージを表示することがあります。画面上にメッセージが現れたら、下表に従って対処してください。

メッセージ	内 容
ランプを交換して下さい。 ランプを交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 （※1）	ランプ使用時間が2000時間に近づいています。（※2） 新しいランプの準備と早めの交換をお勧めします。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ＊＊ 時間後に電源を切ります。 （※1）	ランプ使用時間が2000時間に近づいています。あと＊＊ 時間以内にランプを交換することをお勧めします。（※2） ランプが2000時間に達すると、自動的に電源がオフされます。「ランプについて」 38 に従ってランプを交換してください。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 0時間後に電源を切ります。	ランプの使用時間が2000時間に達しましたので、まもなく電源が自動オフされます。（※2） すぐに電源をオフにし、「ランプについて」 38 に従ってランプを交換してください。 ランプ交換後は必ず「その他メニュー」の「ランプタイマー」を初期化してください。
エアフィルタを掃除してください。 エアフィルタ掃除後、 フィルタータイマーをリセットして下さい。	エアフィルタの掃除時期のお知らせです。「エアフィルタについて」 40 をご覧ください。 掃除後に「その他メニュー」の「フィルタータイマー」の項を操作して、フィルタータイマーを初期化してください。
＊＊ に信号が入力されていません	入力信号がみつかりません。 信号入力の接続や信号源の状態をご確認ください。
＊＊ の信号は同期範囲外です	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。 本機および信号源の仕様をご確認ください。
吸気口をチェックしてください	内部の温度が上昇しています。電源をオフにし、20分程度おいて本機を冷ましてください。以下のことをご確認の上、再度電源をオンにしてください。 ・通風口が塞がっていないか？ ・エアフィルタは汚れていないか？ ・周囲温度が35℃を超えていないか？

お知らせ

（※1）このメッセージは約3分で自動消去しますが、電源オンごとに再現します。
（※2）ランプには寿命があり、使用時間が長時間になるとランプが不点灯となったり、破裂したりする特性があります。本機は、ランプの使用時間が2000時間に達すると自動的に電源をオフするシャットダウン機能を備えております。但し、ランプの寿命はランプによって大きな差があるため、シャットダウン機能が働く前に不点灯となる場合もあります。

インジケータランプについて

POWERインジケータ、LAMPインジケータ、TEMPインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。下表に従って対処してください。

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
橙色の 点　灯	消　灯	消　灯	スタンバイモードが設定されています。
緑色の 点　滅	消　灯	消　灯	ウォームアップ中です。お待ちください。
緑色の 点　灯	消　灯	消　灯	オン状態です。通常操作可能です。
橙色の 点　滅	消　灯	消　灯	冷却中です。お待ちください。
赤色の 点　滅	–	–	冷却中です。お待ちください。 なにか不具合が見つかりました。POWERインジケータの点滅が終わるのを待って以下の欄をご参照の上、適切な処置を行ってください。
赤色の 点　灯 または 点　滅	赤色の 点　灯	消　灯	ランプが点灯しません。 内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから通風孔が塞がっていないか、エアフィルタは汚れていないか、周囲温度が35°Cを超えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして、再び同じ表示になる場合は、ランプを交換してください。
赤色の 点　灯 または 点　滅	赤色の 点　滅	消　灯	ランプまたはランプカバーが無いか、取り付けが不完全です。電源を切って45分以上おき、本機を十分冷ましてから、ランプおよびランプカバーの取り付け状態を確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、ご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にご連絡ください。
赤色の 点　灯 または 点　滅	消　灯	赤色の 点　滅	冷却ファンが動作しません。 電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから、ファンに異物が挟まっていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、ご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にご連絡ください。
赤色の 点　灯 または 点　滅	消　灯	赤色の 点　灯	内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから通風孔が塞がっていないか、エアフィルタは汚れていないか、周囲温度が35°Cを超えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、ご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にご連絡ください。
緑色の 点　灯	赤色の 点　滅 ⇔ (交互)	赤色の 点　滅	内部が冷え過ぎている可能性があります。使用温度範囲（0°C～35°C）でご使用ください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、ご購入元または故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ先」51 ）にご連絡ください。
緑色の 点　灯	赤色の 点　滅 ⇔ (同期)	赤色の 点　滅	エアフィルタの掃除時期のお知らせです。 掃除後に「その他メニュー」の「フィルタータイマー」の項を操作して、フィルタータイマーを初期化してください。

お知らせ

内部の温度が上がり過ぎると、安全のため電源が自動的にオフになり、インジケータが消灯することがあります。電源スイッチの「○」側を押して20分程度おき、本機を十分冷ましてからご使用ください。

故障と間違えやすい現象について

下表ような現象は故障ではない場合があります。修理をご依頼するまえに、下表に従ってもう一度ご確認ください。

現 象	故障でない事例	確 認 内 容	ページ
電源が入らない	主電源が入っていない。	主電源を入れてください。	12,23
	電源コードが抜けている。	電源コードを正しく接続してください。	
	停電などで、動作中に主電源が切断された。	必ず主電源スイッチの「○」（切る）側を押して20分程度おき、本機が十分冷めてから、電源を入れてください。	23
映像も音声も出ない	入力切り換えの設定が異なっている。	入力信号を選択し直してください。	24
	信号が入力されていない。	接続線を正しく接続してください。	17-20
映像は出るが音声が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	17-20
	音量が極端に小さく調節されている。	「音量」を大きく調節してください。	26
	消音モードが設定されている。	MUTEボタンを押して消音モードを解除してください。	26
音声は出るが映像が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	17-20
	明るさが極端に暗く調節されている。	「明るさ」を明るく調節してください。	32
	レンズキャップを取付けたままになっている。	レンズキャップを外してください。	23
色がうすい色あいが悪い	色の濃さ、色あいが正しく調節されていない。	「赤色の濃さ」「青色の濃さ」「色あい」など、映像の調節を行ってください。	33
映像が暗い	明るさ、コントラストが正しく調節されていない。	明るさ、コントラストなど、映像の調節を行ってください。	32
	静音モードが設定されている。	静音モードを解除してください。	37
	ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換してください。	38-39
画像がぼやける	フォーカスかクロック位相が合っていない。	フォーカスとクロック位相を調節してください。	24,33

お知らせ

画面中に輝点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

お問合せ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合には、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれの「お問合せ先」にご相談ください。

＊故障・修理に関するお問合せ先

[法人のお客様]

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

・フリーダイヤル　0120-422-297

・お問合せ時間　9：00～17：00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

[個人のお客様]

■「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

・フリーダイヤル　0120-950-222

・お問い合わせ時間　9：00～17：00（土曜、日曜、祝日を除く）

＊技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル　0120-950-222

・お問合せ時間　9：00～17：00（土曜、日曜、祝日を除く）

—おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

—各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行なってください。
　お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

—システムメンテナンスのため、お問合せ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

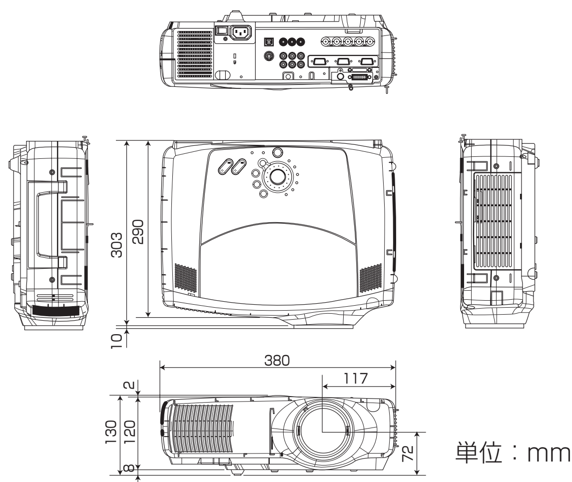
仕　様

お知らせ

●この液晶プロジェクタを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。
This liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本書の内容は製品仕様を含め改良のため、予告無く変更することがあります。
●本書の運用結果については責任を負いかねますので、ご了承ください。
●本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

項　目		仕　様	
品　名		液晶プロジェクタ	
液晶パネル	パネルサイズ	2.5cm（0.99型）	
	駆　動　式	TFTアクティブマトリクス	
	画　素　数	786,432画素（水平1024×垂直768）	
レ　ン　ズ		ズームレンズ F=1.7～2.4　f=30.5～45.8mm	
ラ　ン　プ		275W UHB	
スピーカー		1.0W＋1.0W(ステレオ)	
電　源		AC100V（50Hz／60Hz）	
消費電力		430W	
使用温度範囲		0～35℃	
外形寸法		380（幅）×120（高さ）× 290 (奥行き)mm(突起部含まず)	
質　量		5.7 kg	
端　子		**RGB入力端子** RGB ……………………………………1個 BNC(RGB選択時)-(R,G,B,H,V) …1組 DVI………………………………………1個 **VIDEO入力端子** VIDEO IN ………………………………1個 S-VIDEO IN……………………………1個 COMPONENT VIDEO - (CR/PR,CB/PB,Y)…………1組 BNC(COMPONENT選択時) - (CR/PR,Y,CB/PB) ………………1組	**AUDIO端子** AUDIO IN 1 ……………………1個 AUDIO IN 2 ……………………1個 AUDIO IN(R,L) …………………1組 **RGB出力端子** RGB OUT ………………………1個 **AUDIO出力端子** AUDIO OUT ……………………1個 **コントロール端子** CONTROL ………………………1個 USB ………………………………1個

● 外形寸法図



単位：mm

オプション品のご紹介

オプション品については、製品カタログでご確認ください。

サプライ品のご紹介

下記のサプライ品は、富士通コワーコ株式会社 マーケティング本部　営業推進部TEL.(03)3342-5245にご相談ください。

商　品　名	商品番号	備　　考
ランプユニット	0637360	UHBランプ（275W）（本体付属品と同じ）

環境への配慮のお知らせ

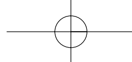
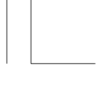
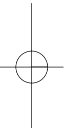
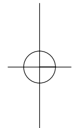
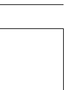
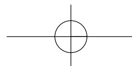
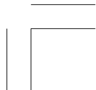
本製品は、通商産業省の設置する産業構造審議会　廃棄物処理・再資源化部会の作成した、「再生資源の利用の促進等に資するための製品設計における事前評価マニュアル作成ガイドライン」（平成6年7月）に準拠して、機器のリサイクルに適した設計を行なっています。
本製品の所有者が事業主の場合、本製品の廃棄時は産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処理業の認可を取得している会社に処分を依託する必要があります。弊社では「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。
詳しくは、ホームページ http://eco.fujitsu.com の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

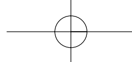
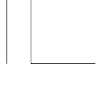
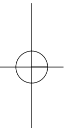
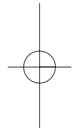
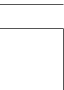
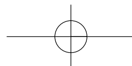
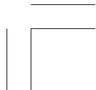
なお、法人・企業以外のお客様は、お申し込みできません。

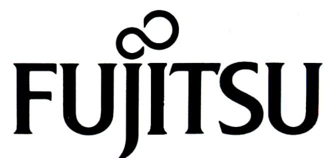
本製品の構成部材（プリント板、シャーシ）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン）が使用されています。使用済み製品を廃棄される場合は、上記のようにリサイクルにご協力ください。

個人のお客様が本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。
受付窓口の電話番号、お申し込み方法などについては AzbyClub ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

プロジェクタに使用のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄方法につきましては、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

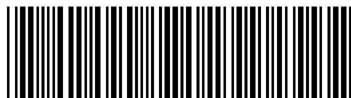


液晶プロジェクタ（PJ-X3500）
取扱説明書

B5FY-3831-02

発　行　日　　2003年10月
発行責任者　富士通株式会社

Printed in Japan



このマニュアルは再生紙を使用しています。

Printed in Japan